

平成 28 年度事業
特別管理産業廃棄物排出・処理状況調査報告書
平成 26 年度実績値

平成 29 年 3 月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査実施機関	1
4. 調査項目	1
II. 調査方法	2
1. アンケート調査による基本データの収集	3
1－1 調査対象	3
1－2 アンケート調査の調査票	5
2. 特別管理産業廃棄物排出量の推計	6
2－1 業種区分変更	8
2－2 中分類への按分方法	8
2－3 特別管理産業廃棄物排出量の年度補正方法	10
2－4 原単位法による推計方法	12
3. 特別管理産業廃棄物の処理量の算出方法	14
III. 調査結果	17
1. アンケート調査結果	17
2. 特別管理産業廃棄物排出量の推計結果	18
3. 特別管理産業廃棄物処理量の推計結果	28
3－1 特別管理産業廃棄物の処理状況	28
3－2 特別管理産業廃棄物の再生利用量、減量化量、最終処分量	31
4. 特別管理産業廃棄物と産業廃棄物との比較	37
4－1 業種別排出量	37
4－2 種類別排出量	38
4－3 地域別排出量	39
4－4 処理処分状況	40
IV. まとめ	41
1. 特別管理産業廃棄物の業種別排出量の比較	41
2. 特別管理産業廃棄物の種類別排出量の比較	42
3. 特別管理産業廃棄物の地域別排出量の比較	43

資 料 編

I. 産業廃棄物排出・処理状況調査アンケート調査票及び記入要領	45
II. 活動量指標全国合計値	61
III. 特別管理産業廃棄物の種類別処理状況フロー	65

1. 調査概要

1. 調査目的

産業廃棄物問題の解決に向けて、行政施策の積極的な推進や、排出事業者の迅速かつ適正な対応が社会的に広く求められているところである。しかし今日、社会情勢の変化や技術の進歩といった特別管理産業廃棄物を取り巻く状況は著しい変化を続けており、行政施策の推進にあたっては、特別管理産業廃棄物の排出及び処理実態の正確な把握が必要不可欠である。

こうしたことから、本調査は、特別管理産業廃棄物処理行政の推進に関する基礎資料を得ることを目的として実施している。

2. 調査期間

自 平成 28 年 6 月

至 平成 29 年 3 月

3. 調査実施機関

本調査は、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課の企画に基づき、株式会社シオ政策経営研究所が、環境省の請負業務として実施した。

4. 調査項目

(1) 特別管理産業廃棄物排出量

平成 26 年度における特別管理産業廃棄物排出量について、都道府県別に調査・推計し、特別管理産業廃棄物の種類別、業種別に特別管理産業廃棄物排出量を推計した。

(2) 特別管理産業廃棄物処理状況

平成 26 年度における特別管理産業廃棄物の再生利用量、中間処理量、最終処分量等の処理状況について、都道府県別に調査・推計し、種類別に特別管理産業廃棄物処理状況を推計した。

Ⅱ． 調査方法

本調査は統計法に基づく一般統計調査として行った。調査方法は図－Ⅱ・１のフローに従って、次の（１）（２）（３）の手順で行った。

（１）基本データの収集

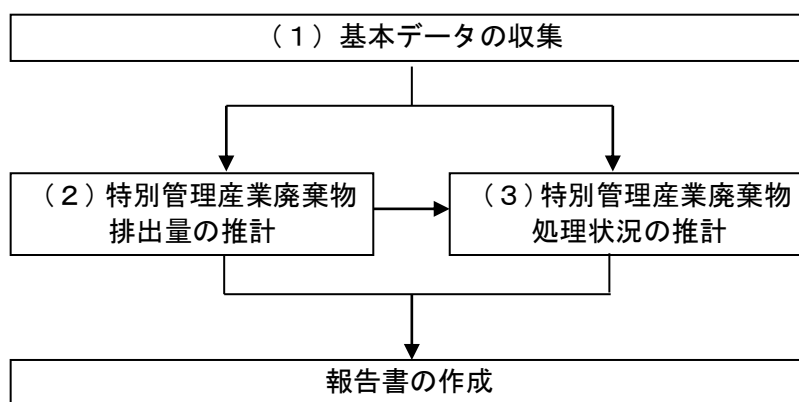
47 都道府県を対象としたアンケートによる特別管理産業廃棄物の排出状況・処理状況調査を実施し、実態データを収集した。

（２）特別管理産業廃棄物排出量の推計

47 都道府県の排出状況データより、平成26年度の排出量を推計した。都道府県によっては一部未調査業種等があり、原単位法等により補完した。

（３）特別管理産業廃棄物処理状況の推計

47 都道府県の処理状況データ及び排出量の推計値を用いて、平成 26 年度の処理状況を推計した。



図－Ⅱ・１ 調査方法

1. アンケート調査による基本データの収集

自治体が把握している各都道府県の特別管理産業廃棄物排出・処理状況を、アンケート調査により収集し、それらを平成 26 年度の全国の特別管理産業廃棄物の排出量及び処理量等を推計するための基本データとした。アンケート調査は、47 都道府県の産業廃棄物行政主管部署を対象として行った。

1-1 調査対象

(1) 調査対象業種

「日本標準産業分類(平成 19 年 11 月改訂)／総務省」(以下、新産業分類)をもとに抽出した、特別管理産業廃棄物の排出が想定される大分類 18 業種を調査の対象とした。

表Ⅱ・1 調査対象業種

No.	大分類	産業分類	コード	No.	大分類	産業分類	コード
	農業、林業	農業、林業大分類	A		情報通信業	情報通信業大分類	G
1		耕種農業	A011	38		通信業	G37
2		畜産農業	A012	39		放送業	G38
3		林業	A02	40		情報サービス業	G39
4	漁業	上記以外の農業、林業		41	運輸業、郵便業	インターネット付随サービス業	G40
5		漁業大分類	B	42		映像・音声・文字情報制作業	G41
6		漁業	B03	43		運輸業、郵便業大分類	H
7	鉱業	水産養殖業	B04	44		鉄道業	H42
8	建設業	鉱業、採石業、砂利採取業	C	45	卸売業、小売業	道路旅客運送業	H43
9		建設業	D	46		道路貨物運送業	H44
10	製造業	製造業大分類	E	47		上記以外の運輸業、郵便業	
11		食料品製造業	E09	48	卸売業、小売業	卸売業、小売業大分類	I
12		飲料・たばこ・飼料製造業	E10	49		各種商品卸売業	I50
13		繊維工業	E11	50		木材・竹材卸売業	I5311
14		木材・木製品製造業	E12	51		各種商品小売業	I56
15		家具・装備品製造業	E13	52		自動車小売業	I591
16		パルプ・紙・紙加工品製造業	E14	53		機械器具小売業	I593
17		印刷・同関連業	E15	54		家具・建具・畳小売業	I601
18		化学工業	E16	55		じゅう器小売業	I602
19		石油製品・石炭製品製造業	E17	56	不動産業、物品賃貸業	燃料小売業	I605
20		プラスチック製品製造業	E18	57		上記以外の卸売業、小売業	
21		ゴム製品製造業	E19	58		不動産業、物品賃貸業大分類	K
22		なめし革・同製品・毛皮製造業	E20	59		物品賃貸業	K70
23		窯業・土石製品製造業	E21	60	生活関連サービス業、娯楽業	学術研究、専門・技術サービス業大分類	L
24		鉄鋼業	E22	61		学術研究、専門・技術サービス業	L71
25		非鉄金属製造業	E23	62		写真業	L746
26		金属製品製造業	E24	63	教育、学習支援業大分類	宿泊業、飲食サービス業大分類	M
27		はん用機械器具製造業	E25	64		飲食店	M76
28		生産用機械器具製造業	E26	65		上記以外の宿泊業、飲食サービス業	
29		業務用機械器具製造業	E27	66		生活関連サービス業、娯楽業大分類	N
30		電子部品・デバイス・電子回路製造業	E28	67	医療、福祉	洗濯業	N781
31		電気機械器具製造業	E29	68		教育、学習支援業	O
32		情報通信機械器具製造業	E30	69		医療、福祉大分類	P
33	電気・ガス・熱供給・水道業	輸送用機械器具製造業	E31			医療業	P83
34		その他の製造業	E32		サービス業	上記以外の医療、福祉	
35		電気・ガス・熱供給・水道業大分類	F			複合サービス事業	Q
36		電気業	F33			サービス業大分類	R
37		ガス業	F34		公務	自動車整備業	R891
		熱供給業	F35			と蓄場	R952
		上水道業	F361			上記以外のサービス業	
		下水道業	F363			公務	S

なお、特別管理産業廃棄物排出・処理状況の把握に「日本標準産業分類（平成 14 年 3 月改訂）／総務庁」（以下、旧産業分類）を用いている自治体については、旧産業分類により想定される大分類 16 業種を調査の対象とした。

（２）調査対象廃棄物

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、廃棄物処理法）に規定する特別管理産業廃棄物 12 種類とした。

表－Ⅱ・２ 調査対象の特別管理産業廃棄物

コード	廃棄物種類		略称等	備考
101	廃酸			強酸（pH2.0 以下）
102	廃油			引火性
103	廃アルカリ			強アルカリ（pH12.5 以上）
104	感染性廃棄物			
105	廃 P C B 等		P C B 廃棄物	（調査対象外）
106	P C B 汚染物			
107	P C B 処理物			
109	鉍さい			有害物質含有
108	指定下水汚泥			（調査対象外）
110	廃石綿等			
201	特 定 有 害 廃 棄 物	燃え殻	特定燃え殻	有害物質含有
202		ばいじん	特定ばいじん	有害物質含有
203		廃油	特定廃油	塩素系溶剤、ベンゼン等
204		汚泥	特定汚泥	有害物質含有
205		廃酸	特定廃酸	有害物質含有
206		廃アルカリ	特定廃アルカリ	有害物質含有

1－2 アンケート調査の調査票

アンケート調査では、表－Ⅱ・３に示す３種類の調査票及び記入要領を１組として、各都道府県に配布した。記入要領及び調査票は巻末の資料編に掲載した。

表－Ⅱ・３ 調査票の構成

No.	調査票名	内容	枚数
1	実態調査状況票	各都道府県で実施した既往の産業廃棄物実態調査の内容及び、今後の調査予定を調査するもの	4 枚
2	業種別・種類別産業廃棄物排出量調査票	産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の業種別廃棄物種類別の年間排出量を調査するもの	2 枚
3	種類別産業廃棄物処理状況調査票	産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の中間処理・最終処分・再生利用状況を調査するもの	2 枚
合 計			8 枚

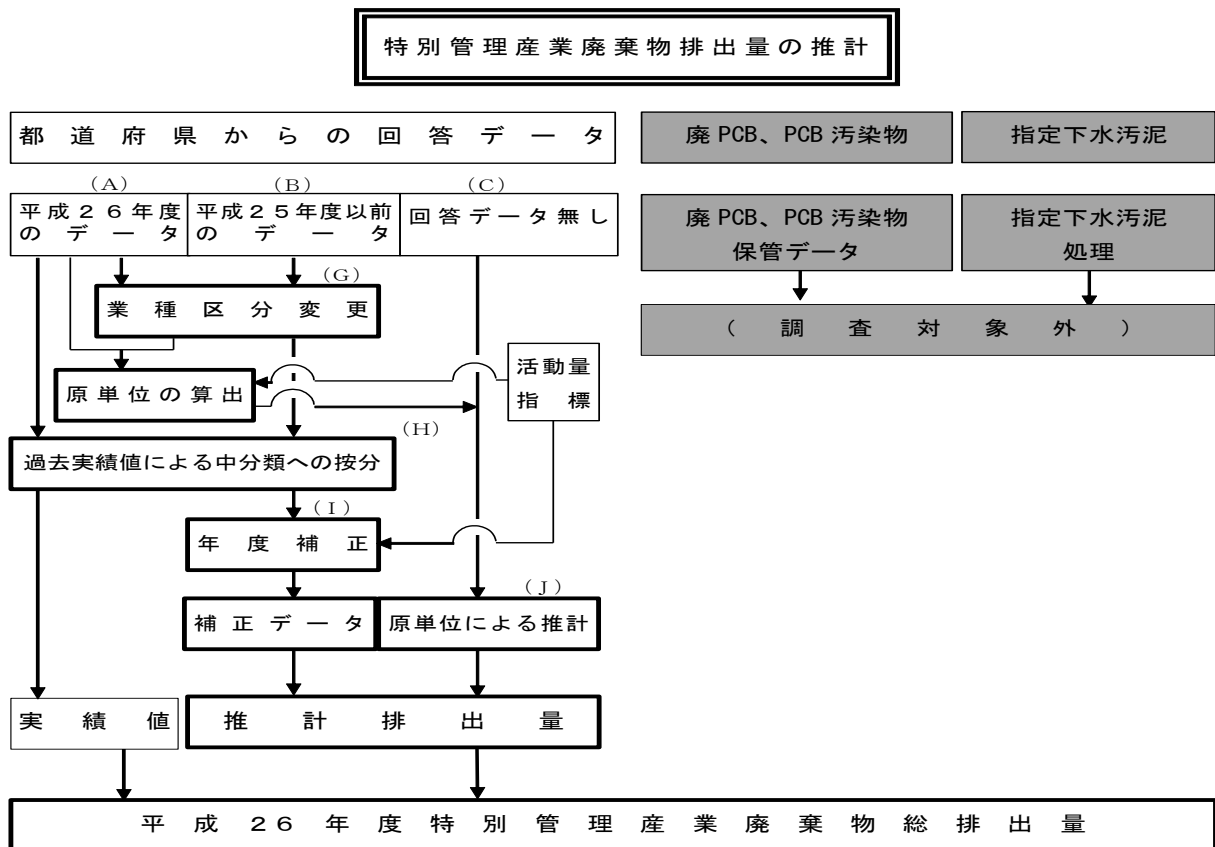
2. 特別管理産業廃棄物排出量の推計

特別管理産業廃棄物排出量の推計方法を図－Ⅱ・2に示す。排出量の推計は特別管理産業廃棄物の種類ごとに、都道府県別及び業種別に行った。

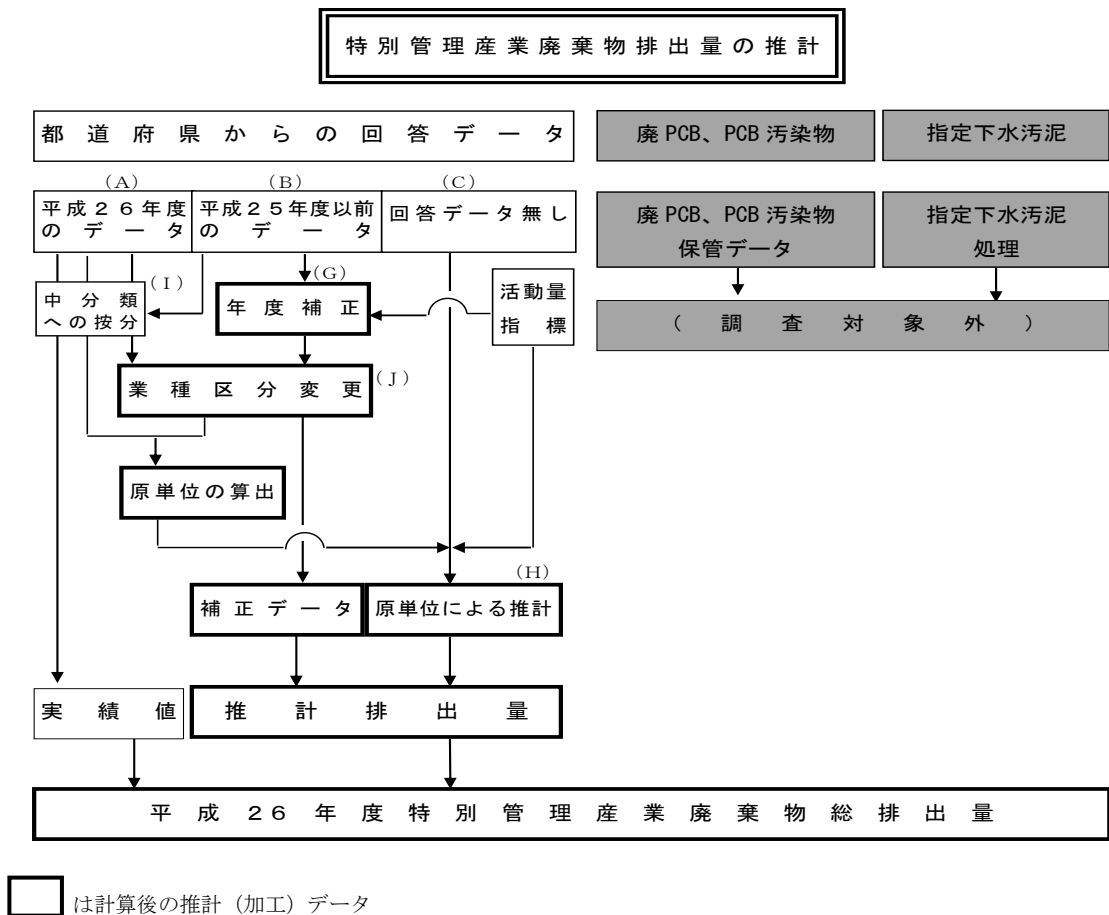
なお、平成23年度以前の推計方法（図－Ⅱ・3）では、一部の中分類別排出量の推計が欠落するため、平成24年度より推計方法の見直しを行った。そのため、過年度調査の推計結果とデータの連続していないことに留意する必要がある。

都道府県回答による推計は、平成26年度データの場合（図－Ⅱ・2中のA）はそのまま、都道府県からの回答データが業種大分類の小計のみである場合は、過去実績値により得られた構成比から中分類への按分（H）を行った。平成25年度以前のデータしかない場合（B）は、過去実績値により得られた構成比から中分類への按分（H）を行ったうえで年度補正（I）を行った。さらに、過去の回答データも無い場合（C）は原単位法を用いて推計を行った（J）。

なお、旧産業分類に準拠している場合等があり、フォーマットを整合させるために、業種区分変更（G）といった処理を行った。



図－Ⅱ・2 特別管理産業廃棄物排出量の推計方法



図－Ⅱ・３ 平成23年度以前の産業廃棄物排出量の推計方法

2-1 業種区分変更

本調査では、新産業分類に基づく業種区分での産業廃棄物排出量を推計した。しかし、都道府県からの回答には旧産業分類で記載されているものもあることから、データの変換を行った。その方法は平成22年度事業「産業廃棄物排出・処理状況調査報告書」の2-3のとおりである。

2-2 中分類への按分方法

都道府県からの回答において、調査対象業種が中分類あるいは小分類、細分類（以下、「中分類」）で設定されているにもかかわらず、大分類のみの排出量しか得られなかった場合は、中分類の排出量を按分により推計し、当該都道府県の平成26年度の排出量とした。

（1）都道府県からの回答により過去の中分類の排出量が既知である場合

都道府県からの直近年度の回答により過去の中分類の排出量が既知である場合は、今年度の中分類排出量も当該数値に比例するものと想定して、図-Ⅱ・4に示すとおり大分類回答を按分した。

平成26年度(今回)の回答値

業種		特別管理産業廃棄物種類			
		廃酸	廃油	廃アルカリ	…
農 林 業	農業大分類	####	####	####	####
	耕種農業				
	畜産農業				
	林業大分類				
	上記以外の農業				
製 造 業	製造業大分類	####	####	####	####
	食料品製造業				
	飲料・たばこ・飼料製造業				
	…				

大分類の排出量

×

直近の調査年度の当該中分類の排出量

直近の調査年度の当該大分類の排出量

=

中分類の排出量

直近の調査年度の排出量

N県の特別管理産業廃棄物排出量					
業種		特別管理産業廃棄物種類			
		廃酸	廃油	廃アルカリ	…
農 林 業	農業大分類	####	####	####	####
	耕種農業	##	##	##	##
	畜産農業	##	##	##	##
	林業大分類	##	##	##	##
	上記以外の農業	##	##	##	##
製 造 業	製造業大分類	####	####	####	####
	食料品製造業	##	##	##	##
	飲料・たばこ・飼料製造業	##	##	##	##
	…	##	##	##	##

平成26年度(今回)の推計値

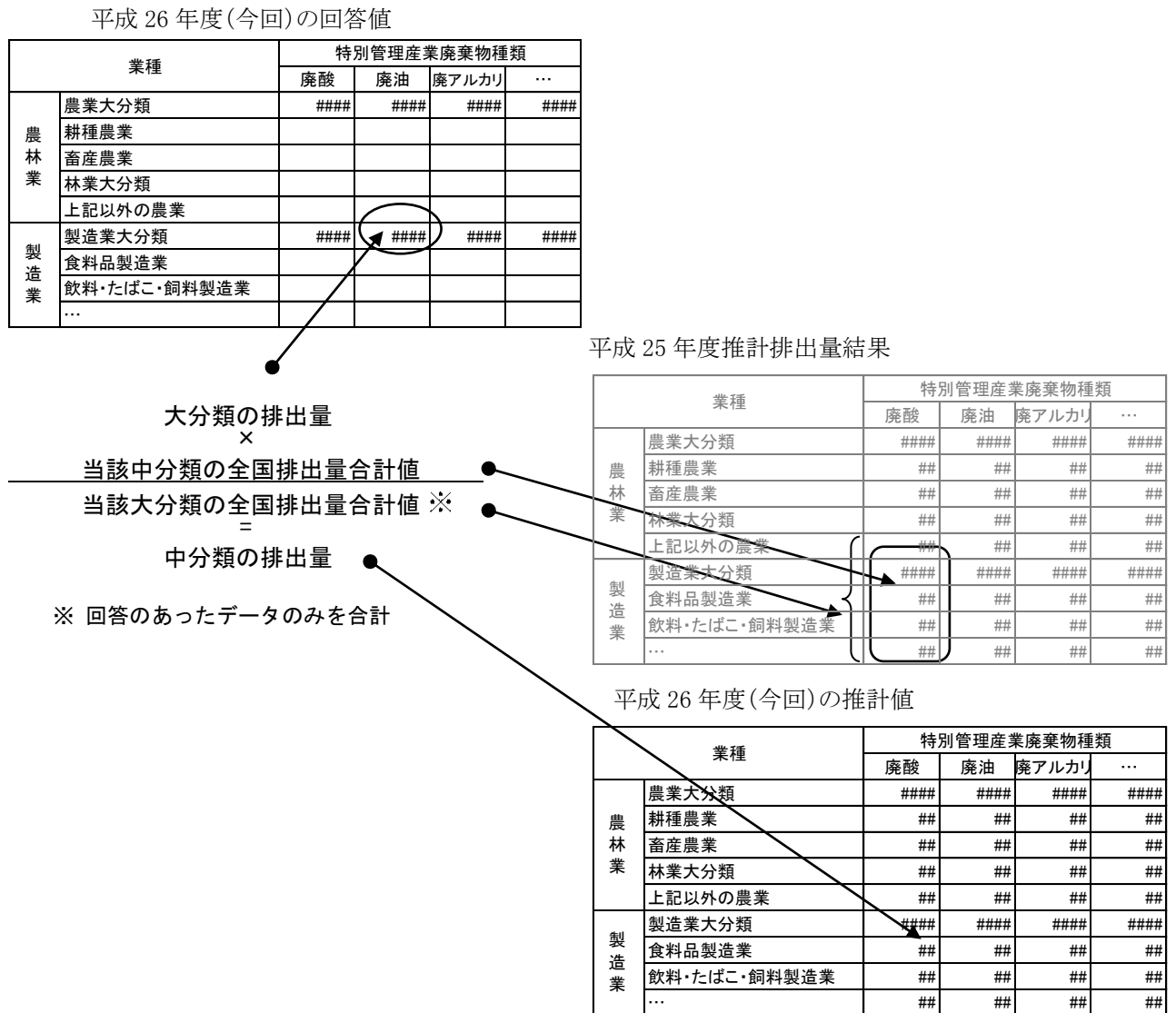
業種		特別管理産業廃棄物種類			
		廃酸	廃油	廃アルカリ	…
農 林 業	農業大分類	####	####	####	####
	耕種農業	##	##	##	##
	畜産農業	##	##	##	##
	林業大分類	##	##	##	##
	上記以外の農業	##	##	##	##
製 造 業	製造業大分類	####	####	####	####
	食料品製造業	##	##	##	##
	飲料・たばこ・飼料製造業	##	##	##	##
	…	##	##	##	##

図-Ⅱ・4 直近の調査年度の排出量による按分

(2) 過去の中分類の排出量が不明な場合

都道府県からの回答から過去の中分類の排出量が不明な場合は、平成 25 年度の都道府県別・種類別推計排出量の結果から得られる全国平均の構成比を用いて、図－Ⅱ・5 に示すとおり大分類回答を按分した。

なお、平成 25 年度の都道府県別・種類別推計排出量の結果においても中分類の排出量が不明な場合は、大分類回答のみを排出量として計上した。



図－Ⅱ・5 全国平均の構成比による按分

2-3 特別管理産業廃棄物の年度補正方法

(1) 年度補正方法

平成 26 年度の産業廃棄物排出量調査を実施していない都道府県については、平成 25 年度以前に回答があった利用可能な特別管理産業廃棄物排出量データに、活動量指標を用いて年度補正を行い、平成 26 年度の産業廃棄物排出量(年度補正排出量)を推定した。

[年度補正計算式]

$$\text{① 年度補正排出量} = \text{調査年度の産業廃棄物排出量} \times \frac{\text{平成26年度の活動量指標}}{\text{調査年度の活動量指標}}$$

補正に用いた業種ごとの活動量指標を表Ⅱ・4に示す。

なお、活動量指標に金額（製造品出荷額等、元請完成工事高）を用いている場合には、以下のよう年度補正に加えて表Ⅱ・5に示すデフレーターによる物価補正も行った。

② 年度補正排出量

$$= \text{調査年度の産業廃棄物排出量} \times \frac{\text{平成26年度の活動量指標} \div \text{平成26年度のデフレーター}}{\text{調査年度の活動量指標} \div \text{調査年度のデフレーター}}$$

表Ⅱ・4 業種ごとの活動量指標の種類及び出典

業種		活動量指標の種類	単位	出典	出典年度次
農 業	耕種農業	施設面積(ハウス面積、ガラス室面積)	a	世界農林業センサス	平成 26 年度
	畜産農業	家畜数(乳用牛、肉用牛、豚、鶏)	頭羽	畜産統計	平成 26 年度
林業、漁業、鉱業		従業者数	人	経済センサス	平成 26 年度
建設業		元請完成工事高	百万円	建設工事施工統計調査報告	平成 26 年度
製造業		製造品出荷額等	百万円	工業統計	平成 26 年度
	電気・ガス・熱供給・水道業	従業者数	人	経済センサス	平成 26 年度
	上水道業	給水人口	人	給水人口と給水普及率	平成 26 年度
	下水道業	処理区域人口	人	都道府県別污水处理人口普及状況	平成 26 年度
情報通信業、運輸業 卸売・小売業 不動産業、物品賃貸業 学術研究、専門・技術サービス業 宿泊業、飲食サービス業 生活関連サービス業、娯楽業		従業者数	人	経済センサス	平成 26 年度
医療、福祉		病床数	床	医療施設動態調査	平成 26 年度
	教育、学習支援業 複合サービス業、サービス業	従業者数	人	経済センサス	平成 26 年度
	と畜場(動物系固形不要物)	と畜頭数	頭	畜産物流通統計	平成 26 年度
公務		従業者数	人	就業構造基本調査	平成 19 年度 平成 24 年度

表－Ⅱ・５ デフレーター

業種大分類	デフレーター	
	建設業*	製造業**
平成 12 年度	99.8	99.7
平成 13 年度	98.1	98.4
平成 14 年度	97.1	97.0
平成 15 年度	97.7	96.1
平成 16 年度	98.8	98.0
平成 17 年度	100.0	100.8
平成 18 年度	102.0	103.3
平成 19 年度	104.6	105.7
平成 20 年度	107.9	107.6
平成 21 年度	104.3	101.3
平成 22 年度	104.6	101.9
平成 23 年度	106.2	103.2
平成 24 年度	104.7	102.1
平成 25 年度	107.0	104.7
平成 26 年度	109.8	104.9

* 「建設工事費デフレーター（2005 年度基準）」（国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課）

** 「企業物価指数（2005 年基準）」（日本銀行調査統計局）

2-4 原単位による推定方法

(1) 全国共通原単位の算出

全国共通原単位の算出方法を図-Ⅱ・6に示す。

各都道府県からの回答実績値を基に、各都道府県の活動量指標を用いて業種別、特別管理産業廃棄物種類別に全国共通原単位を算出した。



図-Ⅱ・6 全国共通原単位算出方法

(2) 原単位法による推定

全国共通原単位を用いた原単位法による推計方法を図－Ⅱ・7に示す。

なお、回答のない都道府県のほか、未調査業種等により回答に部分的に欠落がある場合（大分類と中分類の回答の双方がない場合）についても、この推定方法で補填を行っている。



図－Ⅱ・7 原単位法による排出量推計方法

3. 特別管理産業廃棄物の処理量の算出方法

(1) 特別管理産業廃棄物の処理区分構成比の算出

- ① 処理量算出の基本データとしては、各都道府県からの調査回答を、表Ⅱ・6の方法により図Ⅱ・8の処理状況フローの各項目に変換したものを採用した。このとき、平成26年度の回答のない都道府県や、本調査と処理区分が相違している等の理由で処理状況データが採用できない都道府県については、平成26年度の有効回答実績から求めた平均値による処理構成比率で代替するものとした。
- ② ①の各都道府県データを産業廃棄物種類別に積算し、それぞれの処理区分構成比率を求めた。

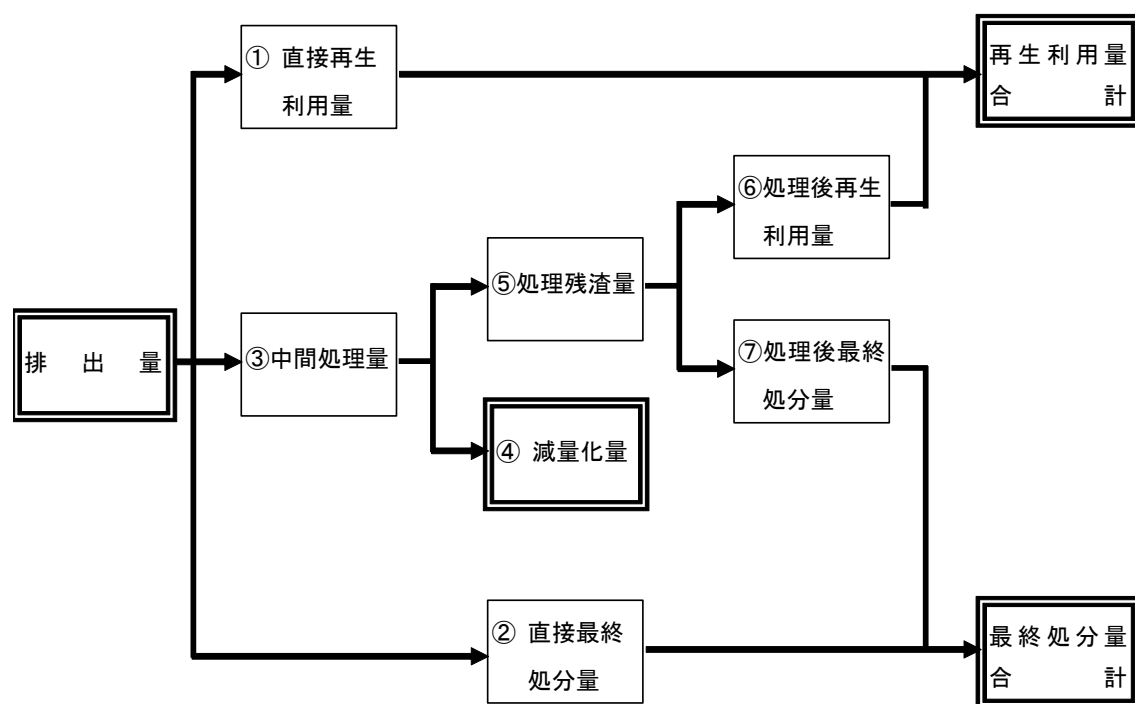
以上により、最終的に全国値としての種類別の産業廃棄物の処理構成比率を算出した。

(2) 全国の特別管理産業廃棄物処理状況推計値の算出

特別管理産業廃棄物の種類別排出量に、(1)で算出した処理区分構成比率を乗じて、特別管理産業廃棄物の種類別処理状況推計値を算出した上、その合計値から全国の特別管理産業廃棄物処理状況推計値を算出した。

$$\begin{aligned} & \text{全国の特別管理産業廃棄物処理状況推計値 (t/年)} \\ & = \Sigma \{ \text{特別管理産業廃棄物の種類別排出量 (t/年)} \times \text{種類別処理状況構成比 (\%)} \} \end{aligned}$$

処理状況フロー図を図Ⅱ・8に、処理状況の算出方法を図Ⅱ・9に、処理状況算出項目(処理区分)を表Ⅱ・6に示す。



図一Ⅱ・8 処理状況フロー図

表一Ⅱ・6 処理状況算出項目（処理区分）

処 理 区 分	調査票Ⅲ処理項目番号との関係
①直接再生利用量（中間処理せず、再生利用された量）	自己未処理自己再生利用量（8）
②直接最終処分量（中間処理せず、最終処分された量）	自己未処理自己最終処分量（11）＋（5）のうち委託最終処分された量（14ハ）
③中間処理量（中間処理の対象となった量）	自己中間処理量（4）＋（5）のうち委託中間処理された量（13イ）
④減量化量（中間処理により減量した量） （＝③－⑤）	－
⑤処理残渣量（中間処理後の処理残渣量） （＝⑥＋⑦）	－
⑥処理後再生利用量（中間処理後に、再生利用された量）	自己中間処理後再生利用量（9）＋委託中間処理後再生利用量（17）
⑦処理後最終処分量（中間処理後に、最終処分された量）	自己中間処理後自己最終処分量（10）＋（6）のうち委託最終処分された量（14ニ）＋委託中間処理後最終処分量（18）

燃え殻 処 理 区 分							
都道府県	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理			
				中間 処理量	処理 残渣量	再生 利用量	最終処分量
N 県	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
O 県	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
P 県	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
Q 県	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
R 県	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
…	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
合計	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
構成比	100%	***	***	***	***	***	***

廃棄物別処理状況の各都道府県データ合計値

↓

● 全国廃棄物別処理状況構成比

×

● 廃棄物別排出量

||

● 廃棄物別の処理状況推計

廃棄物処理状況一覧表							
種類	排出量	直接 再生利用量	直接 最終処分量	中間処理			
				中間 処理量	処理 残渣量	再生 利用量	最終処分量
廃油	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
廃酸	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
廃アルカリ	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
感染性	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
…	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
…	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
合計	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####
構成比	100%	***	***	***	***	***	***

図－Ⅱ・9 特別管理産業廃棄物の処理状況算出方

Ⅲ. 調査結果

1. アンケート調査結果

(1) 基本データ

各都道府県における特別管理産業廃棄物排出・処理状況の実態調査の実施状況は、表－Ⅲ・1に示すとおりである。基本データは、26自治体からは平成26年度実績についての実態調査結果を、他の21自治体は平成25年度以前の実績についての実態調査結果を利用した。

表－Ⅲ・1 都道府県実態調査実績年度（平成26年度実績値）

No.都道府県	産業分類 (新/旧)	調査年度						
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	北海道	○				○※	△	▲
2	青森県	○					▲	
3	岩手県	○	○	○	○	○※	△	▲
4	宮城県				○※	△	△	▲
5	秋田県	○		△	○※	△	△	▲
6	山形県	○	○※					▲
7	福島県		○	○	○	○※	△	▲
8	茨城県	○					▲	
9	栃木県	○	○	○	○	○	○※	▲
10	群馬県	○	○※	△	△	△	△	▲
11	埼玉県							
12	千葉県	○	○	○	○	○	○	●
13	東京都	△	△	△	○※	△	△	▲
14	神奈川県		▲					
15	新潟県	△					▲	
16	富山県	○	○※		○	○	△	▲
17	石川県	○	○	○	○	○	○※	▲
18	福井県	○					▲	
19	山梨県	○				△	▲	
20	長野県							
21	岐阜県	○※						▲
22	静岡県	○	○	○※		△	△	▲
23	愛知県	○	○	○		△	○※	▲
24	三重県	●						
25	滋賀県	○		○	○※	△	△	▲
26	京都府	○		●				
27	大阪府	○		○※				▲
28	兵庫県	●						
29	奈良県	○		●				
30	和歌山県		○	○	○	○※	△	▲
31	鳥取県		○	○	○※	△	△	▲
32	島根県	○					●	
33	岡山県	○	○		○	○※	△	▲
34	広島県	○	○	△	○※	△	△	▲
35	山口県	○※						▲
36	徳島県	○					▲	
37	香川県						▲	
38	愛媛県	○	○					●
39	高知県	●						
40	福岡県	△	○※				▲	
41	佐賀県		○	○	○	○※		▲
42	長崎県	○※						▲
43	熊本県	○					▲	
44	大分県	○	○		△		●	
45	宮崎県	○	○	△	○※	△	△	▲
46	鹿児島県	●						
47	沖縄県	○					▲	
○、○※		31	19	12	16	10	4	0
●、▲		4	1	2	0	0	12	26
計		35	20	14	16	10	16	26

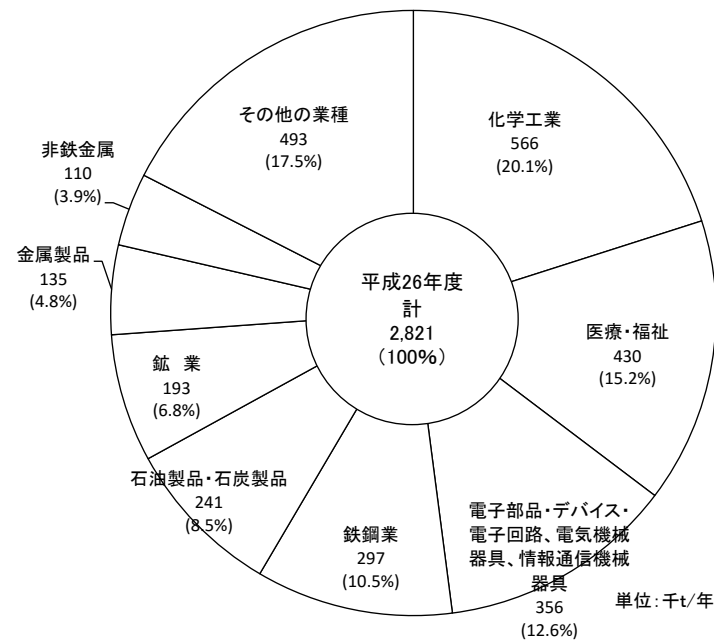
※1 ●：今回採用データ、▲：今回採用データ(大分類による回答あり)
○：以前の調査、○※：以前の調査(按分根拠として採用)

2. 特別管理産業廃棄物排出量の推計結果

図－Ⅱ・2の推計方法により算出した平成26年度における特別管理産業廃棄物の全国排出量は、およそ2,821千トンとなった。特別管理産業廃棄物の業種別排出量を（1）に、特別管理産業廃棄物の種類別排出量を（2）に、特別管理産業廃棄物の地域別排出量を（3）に、特別管理産業廃棄物の業種別・種類別排出量及び都道府県別・種類別排出量を（4）に示す。

（1）特別管理産業廃棄物の業種別排出量

特別管理産業廃棄物の排出量を業種別にみると、化学工業からの排出量が最も多く、566千トン（全体の20.1%）、次いで医療・福祉が430千トン（同15.2%）、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具が356千トン（同12.6%）、鉄鋼業が約297千トン（同10.5%）、石油製品・石炭製品が241千トン（同8.5%）となっており、この5業種で全排出量の約7割を占めている（図－Ⅲ・1、表－Ⅲ・2参照）。



※ 各業種の産業廃棄物の提出量は四捨五入して表示しているため、合算した値は合計値と異なる場合がある。

図－Ⅲ・1 特別管理産業廃棄物の業種別排出量（平成26年度実績値）

表－Ⅲ・２ 特別管理産業廃棄物の業種別排出量（平成 26 年度実績値）

業 種	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
	排出量（千t）	割合（％）	排出量（千t）	割合（％）	排出量（千t）	割合（％）
農 業 、 林 業	0	0.0	0	0.0	3	0.1
漁 業	0	0.0	0	0.0	0	0.0
鉱 業	170	7.5	151	6.1	193	6.8
建設業	43	1.9	45	1.8	89	3.1
製造業	1,601	70.8	1,870	75.1	1,985	70.4
食 料 品 製 造 業	9	0.4	9	0.4	8	0.3
飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料	3	0.1	2	0.1	2	0.1
織 維 工 業	6	0.3	5	0.2	8	0.3
木 材 ・ 木 製 品	1	0.1	1	0.1	1	0.0
家 具 ・ 装 備 品	1	0.0	1	0.0	2	0.1
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品	8	0.4	9	0.4	9	0.3
印 刷 ・ 同 関 連	7	0.3	8	0.3	9	0.3
化 学 工 業	344	15.2	458	18.4	566	20.1
石 油 製 品 ・ 石 炭 製 品	136	6.0	159	6.4	241	8.5
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	92	4.1	72	2.9	78	2.8
ゴ ム 製 品	5	0.2	4	0.2	3	0.1
な め し 革 ・ 同 製 品 ・ 毛 皮	0	0.0	0	0.0	0	0.0
窯 業 ・ 土 石 製 品	26	1.2	24	1.0	59	2.1
鉄 鋼 業	383	16.9	450	18.1	297	10.5
非 鉄 金 属	87	3.8	149	6.0	110	3.9
金 属 製 品	139	6.2	158	6.4	135	4.8
はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具、その他の製造業	85	3.8	70	2.8	71	2.5
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具	243	10.8	270	10.9	356	12.6
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	25	1.1	21	0.8	30	1.1
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	21	0.9	8	0.3	28	1.0
情 報 通 信 業 、 運 輸 業	2	0.1	1	0.0	3	0.1
卸 売 ・ 小 売 業 、 飲 食 店 ・ 宿 泊 業	9	0.4	4	0.2	8	0.3
医 療 ・ 福 祉	329	14.6	348	14.0	430	15.2
教育、学習支援業、複合サービス業、サービス業等	84	3.7	58	2.3	78	2.8
公 務	2	0.1	1	0.0	3	0.1
合 計	2,261	100.0	2,490	100.0	2,821	100.0

* 各業種の産業廃棄物の排出量は四捨五入して表示しているため、合算した値は合計値と異なる場合がある。

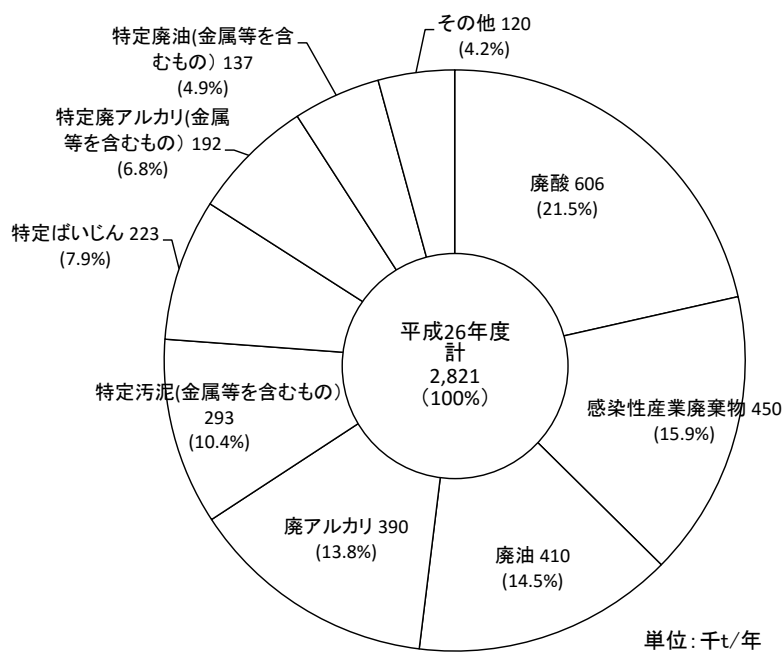
* 日本標準産業分類の改訂に伴う、新旧産業分類で相違する業種区分の対応は以下の通り。

旧産業分類	新産業分類	旧産業分類	新産業分類
(大分類) 農業	(大分類) 農業・林業	一般機械器具製造業	はん用機械器具、生産用機
(大分類) 林業		精密機械器具製造業	械器具、業務用機械器具、そ
繊維工業	繊維工業	その他の製造業	の他の製造業
衣服・その他繊維製品製造業		電気機械器具製造業	電子部品・デバイス・電子回
		情報通信機械器具製造業	路、電気機械器具、情報通信
		電子部品・デバイス製造業	機械器具

「教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業等」：物品賃借業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業の各大分類の合計

(2) 特別管理産業廃棄物の種類別排出量

特別管理産業廃棄物の排出量を種類別にみると、廃酸の排出量が最も多く、約 606 千トン（全体の 21.5%）、次いで感染性廃棄物が約 450 千トン（15.9%）、廃油が約 410 千トン（全体の 14.5%）、廃アルカリが約 390 千トン（同 13.8%）、特定汚泥が約 293 千トン（同 10.4%）となっており、この 5 品目で全排出量の約 8 割を占めている（図－Ⅲ・2、表－Ⅲ・3 参照）。



※ 各業種の産業廃棄物の提出量は四捨五入して表示しているため、合算した値は合計値と異なる場合がある。

図－Ⅲ・2 特別管理産業廃棄物の種類別排出量（平成 26 年度実績値）

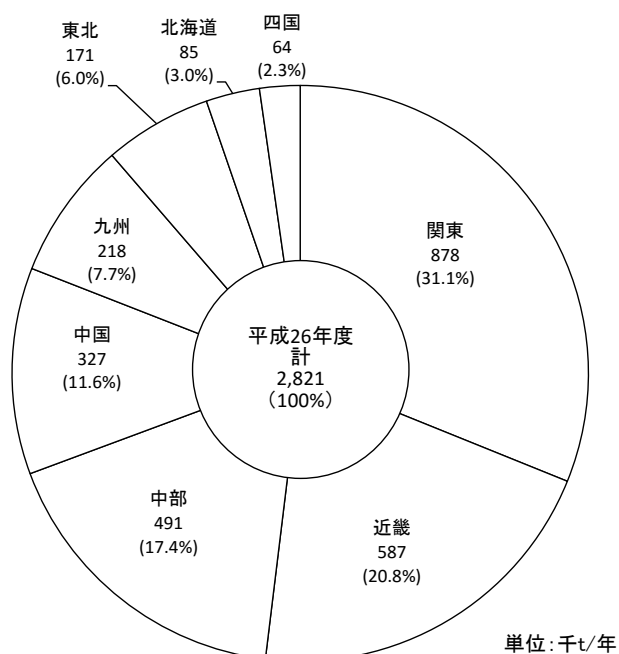
表－Ⅲ・３ 特別管理産業廃棄物の種類別排出量（平成 26 年度実績値）

種 類		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
		排出量（千 t）	割合（％）	排出量（千 t）	割合（％）	排出量（千 t）	割合（％）
廃油		468	20.7	413	16.6	410	14.5
廃酸		467	20.7	533	21.4	606	21.5
廃アルカリ		241	10.7	293	11.8	390	13.8
感染性産業廃棄物		349	15.4	347	14.0	450	15.9
特定有害廃棄物	鉱さい	6	0.3	6	0.2	7	0.3
	廃石綿等	18	0.8	34	1.4	48	1.7
	燃え殻	6	0.3	5	0.2	6	0.2
	ばいじん	276	12.2	397	15.9	223	7.9
	廃油(金属等を含むもの)	43	1.9	69	2.8	137	4.9
	汚泥(金属等を含むもの)	157	6.9	221	8.9	293	10.4
	廃酸(金属等を含むもの)	53	2.4	57	2.3	59	2.1
	廃アルカリ(金属等を含むもの)	176	7.8	114	4.6	192	6.8
合 計		2,261	100.0	2,490	100.0	2,821	100.0

* 各種類の産業廃棄物排出量は四捨五入して表示しているため、合算した値は合計値と異なる場合がある。

(3) 特別管理産業廃棄物の地域別排出量

特別管理産業廃棄物の排出量を地域別にみると、関東地方の排出量が最も多く、約 878 千トン（全体の 31.1%）であり、次いで、近畿地方の約 587 千トン（同 20.8%）、中部地方の約 491 千トン（同 17.4%）の順になっている（図－Ⅲ・3、表－Ⅲ・4 参照）。



図－Ⅲ・3 特別管理産業廃棄物の地域別排出量（平成 26 年度実績値）

表－Ⅲ・4 特別管理産業廃棄物の地域別排出量（平成 26 年度実績値）

地域別	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
	排出量 (千 t)	割合 (%)	排出量 (千 t)	割合 (%)	排出量 (千 t)	割合 (%)
北海道	81	3.6	83	3.4	85	3.0
東北	125	5.5	220	8.8	171	6.0
関東	721	31.9	751	30.2	878	31.1
中部	361	16.0	395	15.9	491	17.4
近畿	533	23.6	534	21.5	587	20.8
中国	194	8.6	236	9.5	327	11.6
四国	49	2.2	57	2.3	64	2.3
九州	198	8.8	213	8.6	218	7.7
合計	2,261	100.0	2,490	100.0	2,821	100.0

* 各種類の産業廃棄物排出量は四捨五入して表示しているため、合算した値は合計値と異なる場合がある。

* 各地域に属する都府県は次のとおり。

東北地域：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東地域：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中部地域：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
 近畿地域：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国地域：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国地域：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州地域：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

（４）特別管理産業廃棄物の業種別種類別排出量及び都道府県別種類別排出量

（１）（２）（３）の詳細な内訳として、特別管理産業廃棄物の業種別種類別排出量を表－Ⅲ・５に、都道府県別種類別排出量を表－Ⅲ・６に示す。

また、これらを算出するために用いた全国共通原単位を表－Ⅲ・７に、各都道府県回答排出量の合計値を表－Ⅲ・８に示す。

表一Ⅲ・5 平成26年度実績値 特別管理産業廃棄物の業種別・種類別排出量推計値一覧表

[illegible]

※大分類のみの回答で、かつ中分類への配分ができない都道府県があるため、中分類の合算値と大分類の合算値とが合致しない項目がある。

※四捨五入により、各項目の合算値と合計値が合致しない項目がある。

表－Ⅲ・6 平成 26 年度実績値 特別管理産業廃棄物の都道府県別・種類別排出量推計値 一覧表

No.	都道府県名	廃油	廃酸	廃アルカリ	感熱性 産業廃棄物	鉋さい	廃石棉等	燃え殻	ばいじん	廃油 (金属等を含むもの)	汚泥 (金属等を含むもの)	廃酸 (金属等を含むもの)	廃アルカリ (金属等を含むもの)	合 計
1	北海道	2,712	1,801	3,905	18,699	1,200	2,243	88	5,920	51	47,880	411	22	84,934
2	青森県	540	292	331	70	1,043	258	128	126	226	520	143	305	4,097
3	岩手県	1,007	3,586	5,061	3,296	9	103	714	19	714	791	1,062	1,062	14,764
4	宮城県	9,232	10,298	17,569	117	1,789	1,590	61	1,779	1,174	8,568	372	738	55,058
5	秋田県	3,308	3,077	5,121	34	317	384	15	431	1,863	4,993	588	1,898	24,798
6	山形県	4,741	7,616	3,472	53	317	396	31	83	837	11,604	5,224	4,302	29,592
7	福島県	9,921	11,536	4,233	224	6,938	11,491	85	24,780	293	6,319	1,958	5,660	42,373
8	茨城県	15,424	60,120	6,938	11,491	9,846	617	1	24,780	293	6,319	1,958	5,660	119,426
9	栃木県	12,552	7,990	7,990	2,966	1,431	144	1,537	7,025	97	2,585	635	868	72,564
10	群馬県	16,146	6,480	10,979	21,472	332	1,985	8,742	3,726	5,763	8,742	1,841	11,028	39,914
11	埼玉県	18,161	16,167	10,979	21,472	332	1,985	8,742	3,726	5,763	8,742	1,841	11,028	100,296
12	千葉県	28,199	71,204	34,760	17,922	15	3,921	340	11,488	26,030	12,338	2,984	73,228	282,429
13	東京都	1,034	18,003	1,005	43,049	15	11,002	453	3,284	1,959	29,655	1	1,001	105,762
14	神奈川県	32,836	39,400	22,914	25,662	178	1,315	2,014	2,729	23,535	2,635	3,164	23,846	157,468
15	新潟県	6,411	7,792	7,126	12,491	145	1,103	45	1,670	2,606	4,972	893	4,523	68,998
16	富山県	6,124	7,425	6,552	5,632	145	558	35	1,670	13,713	1,318	932	4,408	41,024
17	石川県	6,424	15,105	748	5,574	4	466	4	181	884	2,405	2,236	115	44,399
18	福井県	7,495	4,053	10,319	2,395	49	499	24	201	884	2,405	2,236	6,343	36,881
19	山梨県	25	39	12	3,477	66	330	19	201	647	3,965	344	531	9,655
20	長野県	5,330	7,496	9,626	1,359	13	274	13	906	801	409	2,270	1,572	36,867
21	岐阜県	4,392	8,447	14,166	8,103	180	770	44	632	993	6,445	1,128	1,686	48,809
22	静岡県	20,222	4,197	3,694	9,926	0	158	9	20,664	5,116	3,099	4,386	8,340	55,656
23	愛知県	28,714	14,387	603	21,322	603	1,373	165	20,664	5,116	12,297	3,582	9,924	148,799
24	三重県	24,556	21,681	56,852	6,548	206	806	51	1,259	9,256	9,306	2,185	10,216	143,092
25	滋賀県	8,314	9,073	30,145	5,792	376	150	641	206	29	705	1,566	10,216	57,209
26	京都府	7,269	11,014	648	8,000	59	69	2	462	1,849	3,521	1,080	1,605	35,578
27	大阪府	15,639	42,915	21,298	27,275	805	674	29	30,479	3,552	1,562	3,768	1,052	149,048
28	兵庫県	46,551	26,863	23,658	7,435	871	3,682	1,260	27,133	838	13,617	4,434	4,843	161,186
29	奈良県	2,210	73	2,935	2,935	0	62	0	2	40	94	7	0	6,216
30	和歌山県	4,340	13,168	4,026	5,936	316	316	45	4,405	7	2,268	2	421	34,933
31	鳥取県	571	1,483	2,219	3,490	4	3	11	198	434	739	171	119	9,433
32	島根県	1,487	620	1,009	3,920	18	53	10	3,262	56	3,526	84	62	14,108
33	岡山県	15,040	18,040	15,136	6,938	9	1,239	130	58	150	1,258	49	10	58,057
34	広島県	4,193	4,193	1,872	34,104	479	479	65	2,042	377	1,213	2,001	1,721	48,002
35	山口県	11,627	63,730	17,298	6,020	219	7,532	65	32,253	37,476	17,293	2,119	1,955	197,588
36	徳島県	2,154	2,301	315	3,317	4	432	4	2,024	2	1,640	25	837	13,053
37	香川県	3,663	3,663	2,596	3,028	8	288	8	313	92	3,630	63	113	16,819
38	愛媛県	6,714	2,179	486	9,712	0	91	0	48	1,760	2,241	46	439	23,856
39	高知県	433	538	43	2,384	13	253	13	348	27	5,915	55	107	10,139
40	福岡県	10,029	10,654	13,619	10,728	89	396	89	23,431	2,121	1,965	1,841	3,024	77,907
41	佐賀県	1,419	3,960	149	2,965	1	214	1	2,776	24	1,213	1,763	1,263	14,648
42	長崎県	2,099	3,998	275	3,653	22	56	22	13	21	1,018	61	74	11,291
43	熊本県	6,034	15,034	694	13,234	6	6	0	205	42	6,667	1,175	992	44,084
44	大分県	10,507	5,415	2,192	4,537	162	162	164	2	180	2,223	1,247	264	26,893
45	宮崎県	3,208	1,995	3,459	4	69	4	69	2,119	36	159	39	162	11,453
46	鹿児島県	1,721	2,284	782	9,805	34	614	19	12	36	6,279	79	5	21,670
47	沖縄県	8	23	2,707	359	359	359	4	6,841	4	81	445	14	10,482
	全国	410,285	605,818	390,268	449,554	7,104	47,570	5,716	222,707	137,310	293,089	59,436	192,447	2,821,305

※四捨五入により、各項目の合算値と合計値が合致しない項目がある。

表－Ⅲ・7 平成 26 年度実績値 特別管理産業廃棄物の業種別・種類別全国共通原単位一覧表

平成26年度										(単位:1/kg)					
大分類	中分類	業種分類	コード	単位	原油	原価	廃アルカリ	廃炭素	特定有害産業廃棄物	ばね	原油	汚泥	金属等を含むもの	廃アルカリ	
全国															
農林業	農林業	農産、林業大分類	A	千t											
		1 稲作業	A011	千t											
		2 麦作業	A021	千t											
		3 雑穀	A031	千t											
漁業	漁業	4 上記以外の農産、林業		千t											
		漁業大分類	B	千t											
		5 漁業	B01	千t											
		6 水産物製造業	B04	千t											
		7 鉱業、採石業、砂利採取業	C	千t	0.752	0.588									
		8 建設業	D	千t	0.051	0.028	0.007	0.612	0.046	0.842	0.026	0.011	0.002	0.021	
製造業	製造業	9 化学工業	E	千t											
		10 鉄鋼業	E01	千t	0.064	0.001	0.059	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
		11 機械・電気・電子・材料製造業	E10	千t	0.126	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
		12 繊維工業	E11	千t	0.017	0.066	0.063	0.000	0.000	0.004	0.000	0.000	0.000	0.016	
		13 木材・木製品製造業	E12	千t	0.232					0.003	0.174	0.376	0.000	0.000	
		14 パルプ・紙・紙加工品製造業	E13	千t	0.505	0.038	0.047	0.002	0.000	0.011	0.158	0.000	0.000	0.005	
		15 印刷・印刷関連業	E14	千t	0.637	0.196	0.287	0.000	0.000	0.004	0.053	0.000	0.000	0.000	
		16 化学工業	E15	千t	1.514	0.216	0.216	0.000	0.000	0.004	0.010	0.000	0.000	0.000	
		17 石油製品・石炭製品製造業	E16	千t	6.244	1.405	1.765	0.282	0.000	0.007	0.002	0.015	0.000	0.000	
		18 石油製品・石炭製品製造業	E17	千t	0.443	3.413	3.439	0.000	0.000	0.061	0.004	0.000	0.000	0.000	
		19 化学工業	E18	千t	0.503	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
		20 化学工業	E19	千t	0.269	0.045	0.120	0.001	0.000	0.000	0.010	0.000	0.000	0.000	
		21 金属・土石製品製造業	E20	千t	0.597					0.004	0.006	0.000	0.000	0.000	
		22 鉄鋼業	E21	千t	3.188	6.215	0.155	0.000	0.011	0.004	0.055	0.000	0.005	0.188	
		23 鉄鋼業	E22	千t	0.104	6.792	0.140	0.001	0.001	0.003	0.003	0.023	0.119	0.230	
		24 鉄鋼業	E23	千t	0.163	1.248	0.571	0.102	0.082	0.006	0.052	0.016	0.158	0.045	
		25 金属製品製造業	E24	千t	0.352	4.447	1.227	0.000	0.000	0.000	0.000	0.058	0.186	0.927	
		26 金属製品製造業	E25	千t	0.047	0.207	0.071	0.000	0.000	0.000	0.000	0.007	0.000	0.000	
		27 金属製品製造業	E26	千t	0.032	0.032	0.035	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
		28 金属製品製造業	E27	千t	0.013	0.013	0.013	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
		29 電気機械器具製造業	E28	千t	5.420	14.849	0.002	0.002	0.000	0.001	2.354	0.545	0.620	0.482	
		30 電気機械器具製造業	E29	千t	0.433	0.417	0.115	0.002	0.002	0.000	0.004	0.054	0.114	0.134	
		31 電気機械器具製造業	E30	千t	0.043	0.035	2.067	0.010	0.000	0.000	0.002	0.250	0.122	0.003	
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業	32 輸送用機械器具製造業	E31	千t	0.185	0.085	0.067	0.000	0.006	0.000	0.009	0.084	0.010	0.003	
		33 その他製造業	E32	千t	3.598	1.646	0.538	0.009	0.016	0.096	0.054	0.164	0.266	0.200	
		34 電気業	F	千t	1.268	0.212	1.881	0.026		3.197	0.013	0.000	1.250	18.371	
		35 電気業	F01	千t	0.019	0.090						0.007			
情報通信業	情報通信業	36 情報通信業	G	千t	0.000	0.001	0.001	0.000				0.000	0.000	0.000	
		37 情報通信業	G01	千t	0.000	0.000	0.000	0.000				0.000	0.000	0.001	
		38 情報通信業	G02	千t											
		39 情報通信業	G03	千t											
運輸業、郵便業	運輸業、郵便業	40 情報サービス業	G04	千t											
		41 インターネットサービス業	G05	千t											
		42 情報サービス業	G06	千t											
		43 郵便業	G07	千t											
		44 郵便業	G08	千t	1.483	0.000		0.004		0.083	0.138	0.165	0.028		
		45 道路旅客運送業	H42	千t	0.175		0.028	0.010							
		46 道路貨物運送業	H43	千t	0.203										
		47 道路貨物運送業	H44	千t	6.544										
		48 道路貨物運送業	H45	千t											
		49 道路貨物運送業	H46	千t											
		50 道路貨物運送業	H47	千t											
卸売業、小売業	卸売業、小売業	51 各種卸売業	I	千t											
		52 各種卸売業	I01	千t											
		53 各種卸売業	I02	千t											
		54 各種卸売業	I03	千t											
		55 各種卸売業	I04	千t											
		56 各種卸売業	I05	千t											
		57 各種卸売業	I06	千t											
		58 各種卸売業	I07	千t											
		59 各種卸売業	I08	千t											
		60 各種卸売業	I09	千t											
		61 各種卸売業	I10	千t											
不動産業、物品賃貸業	不動産業、物品賃貸業	62 不動産業	J	千t											
		63 不動産業	J01	千t											
		64 不動産業	J02	千t											
		65 不動産業	J03	千t											
		66 不動産業	J04	千t											
		67 不動産業	J05	千t											
		68 不動産業	J06	千t											
		69 不動産業	J07	千t											
		70 不動産業	J08	千t											
		71 不動産業	J09	千t											
		72 不動産業	J10	千t											
公共サービス業	公共サービス業	73 公共サービス業	K	千t											
		74 公共サービス業	K01	千t											
		75 公共サービス業	K02	千t											
		76 公共サービス業	K03	千t											
		77 公共サービス業	K04	千t											
		78 公共サービス業	K05	千t											
		79 公共サービス業	K06	千t											
		80 公共サービス業	K07	千t											
		81 公共サービス業	K08	千t											
		82 公共サービス業	K09	千t											
		83 公共サービス業	K10	千t											
その他	その他	84 その他	L	千t											
		85 その他	L01	千t											
		86 その他	L02	千t											
		87 その他	L03	千t											
		88 その他	L04	千t											
		89 その他	L05	千t											
		90 その他	L06	千t											
		91 その他	L07	千t											
		92 その他	L08	千t											
		93 その他	L09	千t											
		94 その他	L10	千t											
		95 その他	L11	千t											
合計															
全国															
合計															

3. 特別管理産業廃棄物処理量の推計結果

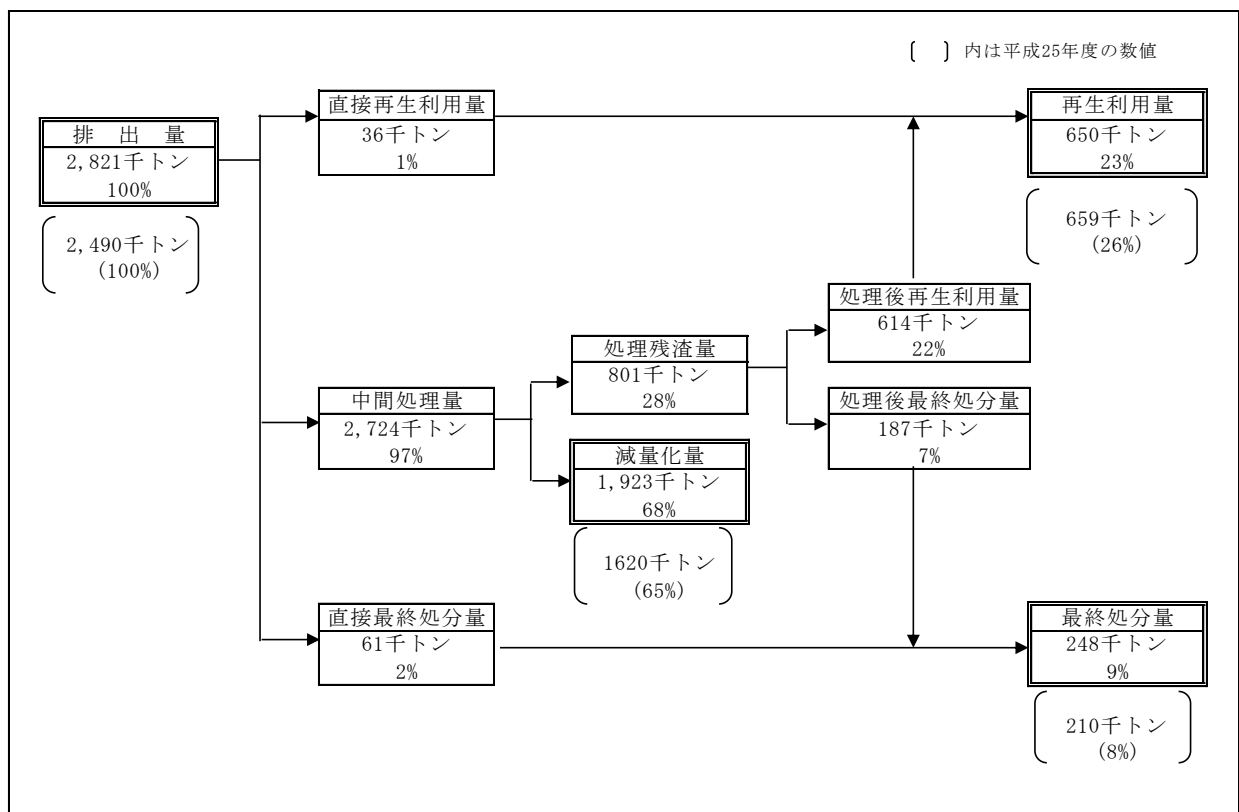
3-1 特別管理産業廃棄物の処理状況

平成 26 年度の特別管理産業廃棄物の全体の処理状況を図－Ⅲ・4 に、また特別管理産業廃棄物種類別の処理状況を表－Ⅲ・9 に示す

総排出量約 2,821 千トンのうち、中間処理量は約 2,724 千トン（全体の 97%）、直接再生利用量約 36 千トン（同 1%）、直接最終処分量は、約 61 千トン（同 2%）となった。

また、中間処理された特別管理産業廃棄物から発生した処理残渣（約 801 千トン）は、再生利用（約 614 千トン）または最終処分（約 187 千トン）されていた。

合計では、排出された特別管理産業廃棄物全体の 23%にあたる約 650 千トンが再生利用され、9%にあたる約 248 千トンが最終処分された。



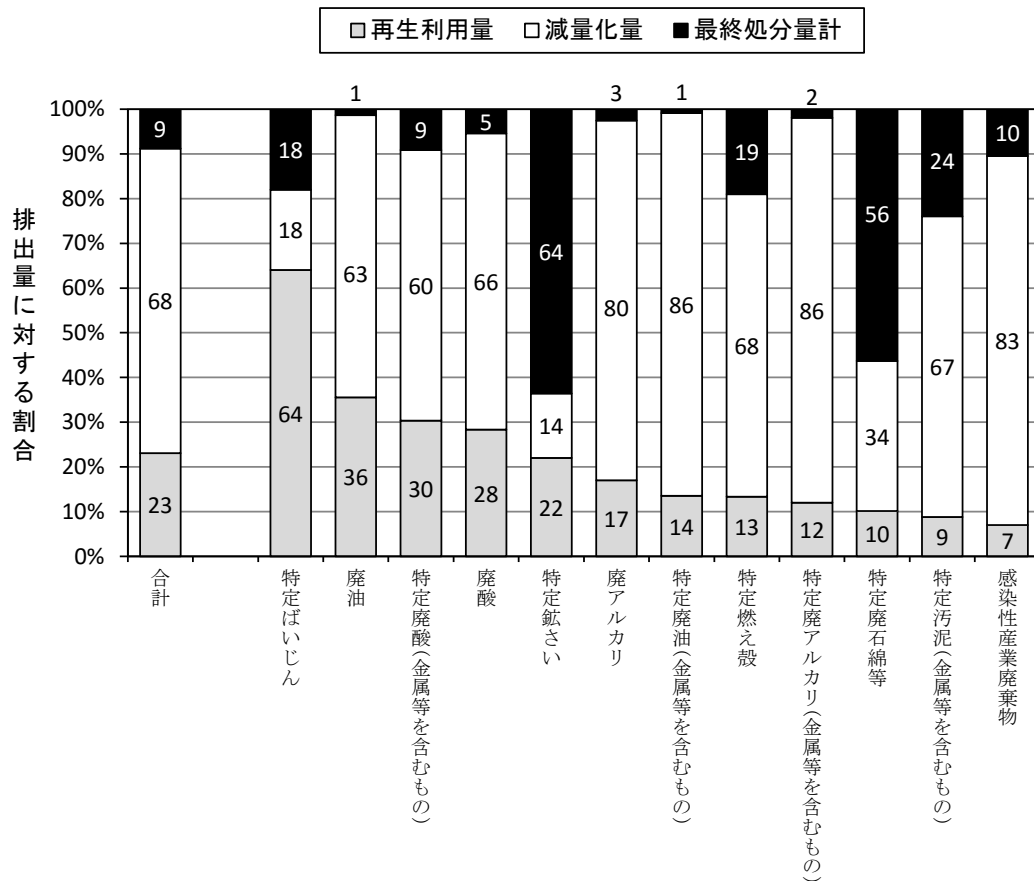
※各項目量は、四捨五入して表示しているため、収支が合わない場合がある。

図－Ⅲ・4 特別管理産業廃棄物の処理状況（平成 26 年度実績値）

特別管理産業廃棄物の再生利用率、減量化率、最終処分率を図－Ⅲ・５に示す。

再生利用率が高い特別管理産業廃棄物は、特定ばいじん（64%）、廃油（36%）等であり、再生利用率が低い特別管理産業廃棄物は、感染性廃棄物（7%）、特定汚泥（9%）及び特定廃石綿等（10%）等であった。

最終処分率が高い特別管理産業廃棄物は、特定鉱さい（64%）、特定廃石綿等（56%）、特定汚泥（24%）等であった。



図－Ⅲ・５ 特別管理産業廃棄物の再生利用率、減量化率、最終処分率（平成 26 年度実績値）

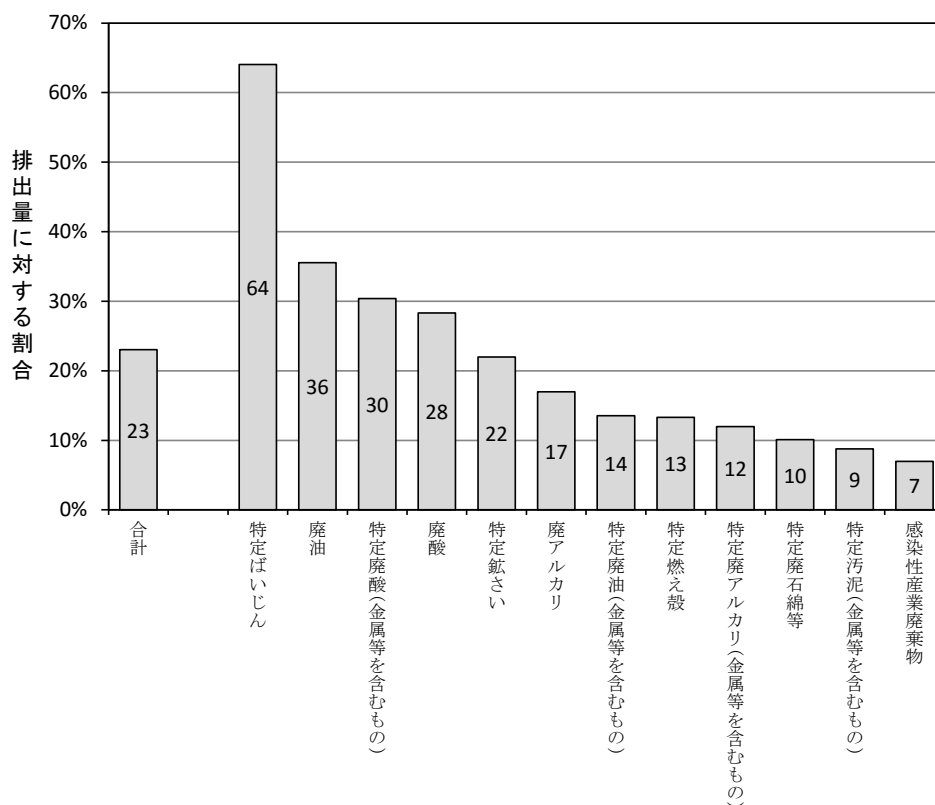
3-2 特別管理産業廃棄物の再生利用量、減量化量、最終処分量

(1) 特別管理産業廃棄物の再生利用量

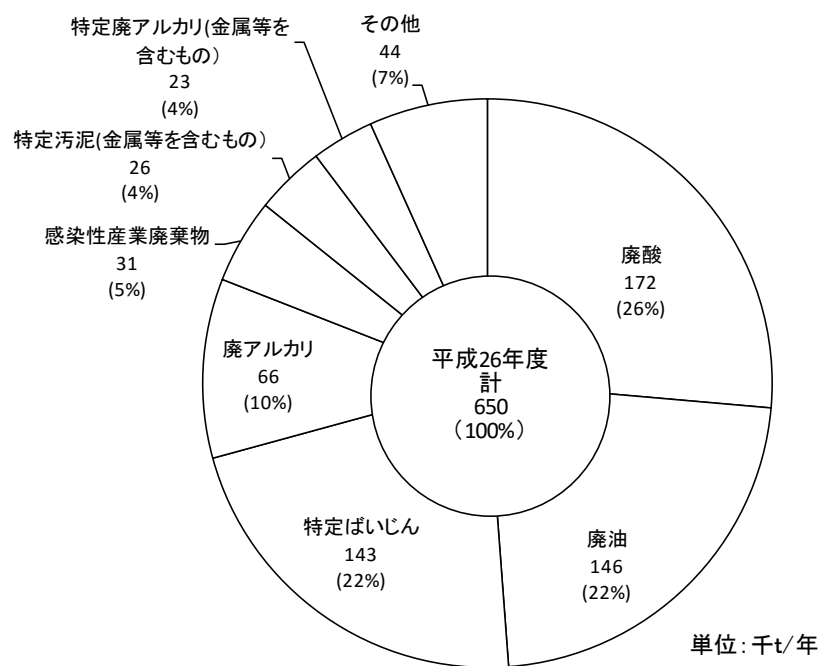
特別管理産業廃棄物の再生利用量は図－Ⅲ・4に示したように、総排出量約2,821千トンのうち約650千トン（全体の23%）であった。

種類別にみると図－Ⅲ・6に示すように、再生利用率の高い廃棄物は、特定ばいじんの64%（約143千トン）、廃油の36%（約146千トン）等であった。一方、再生利用率の低い廃棄物は、感染性廃棄物の7%（約31千トン）、特定汚泥の9%（約26千トン）、特定廃石綿等の10%（約5千トン）等であった。

また、量的にみると、図－Ⅲ・7に示すように廃酸の約172千トン（全体の26%）、廃油の約146千トン（同22%）、特定ばいじんの約143千トン（同22%）が多く、これら3種で全体のおよそ7割を占めた。



図－Ⅲ・6 特別管理産業廃棄物の種類別再生利用率（平成26年度実績値）



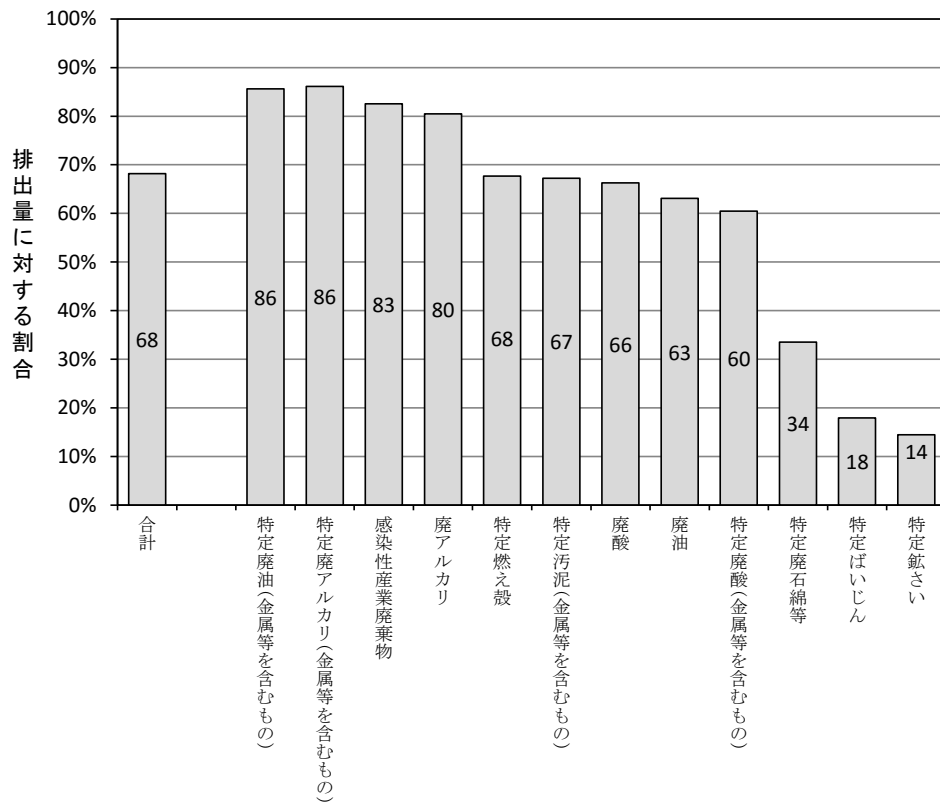
図一Ⅲ・7 特別管理産業廃棄物の再生利用量の種類別内訳 (平成 26 年度実績値)

（２）特別管理産業廃棄物の減量化量

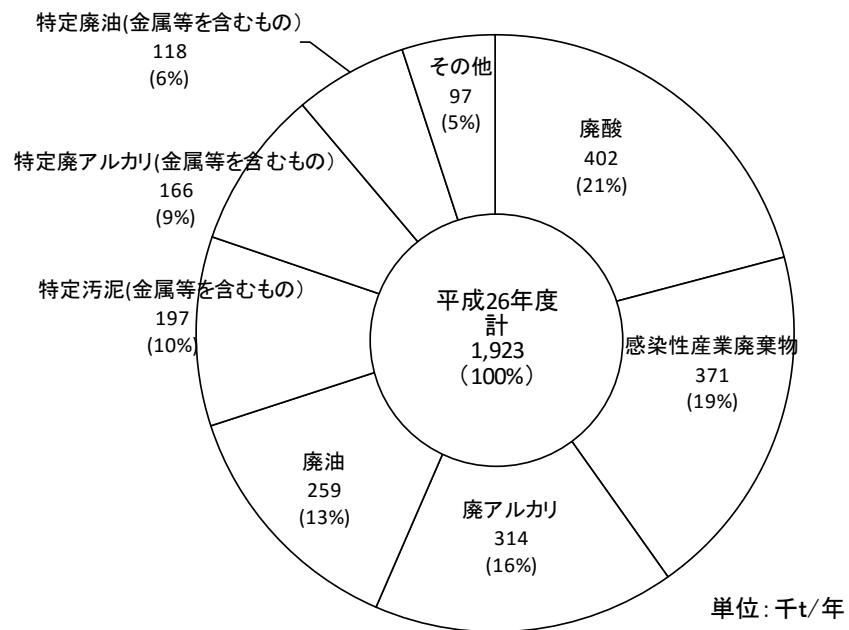
特別管理産業廃棄物の減量化量は図－Ⅲ・４に示したように、排出量約 2,821 千トンのうち約 1,923 千トン（同 68％）であった。

種類別にみると図－Ⅲ・８に示すように、減量化率の最も高い廃棄物は、特定廃油の 86％（約 118 千トン）、特定廃アルカリの 86％（約 166 千トン）、感染性廃棄物の 83％（約 371 千トン）等であった。一方、減量化率の低い廃棄物は、特定鉍さいの 14％（約 1 千トン）、特定鉍ばいじんの 18％（約 40 千トン）、特定廃石綿等の 34％（約 16 千トン）であった。

また、量的にみると、図－Ⅲ・９に示すように廃酸の約 402 千トン（全体の 21％）、感染性廃棄物の約 371 千トン（同 19％）、廃アルカリの約 314 千トン（同 16％）、廃油の約 259 千トン（同 13％）が多く、これら４種で全体のおよそ 7 割を占めた。



図－Ⅲ・８ 特別管理産業廃棄物の種類別減量化率（平成 26 年度実績値）



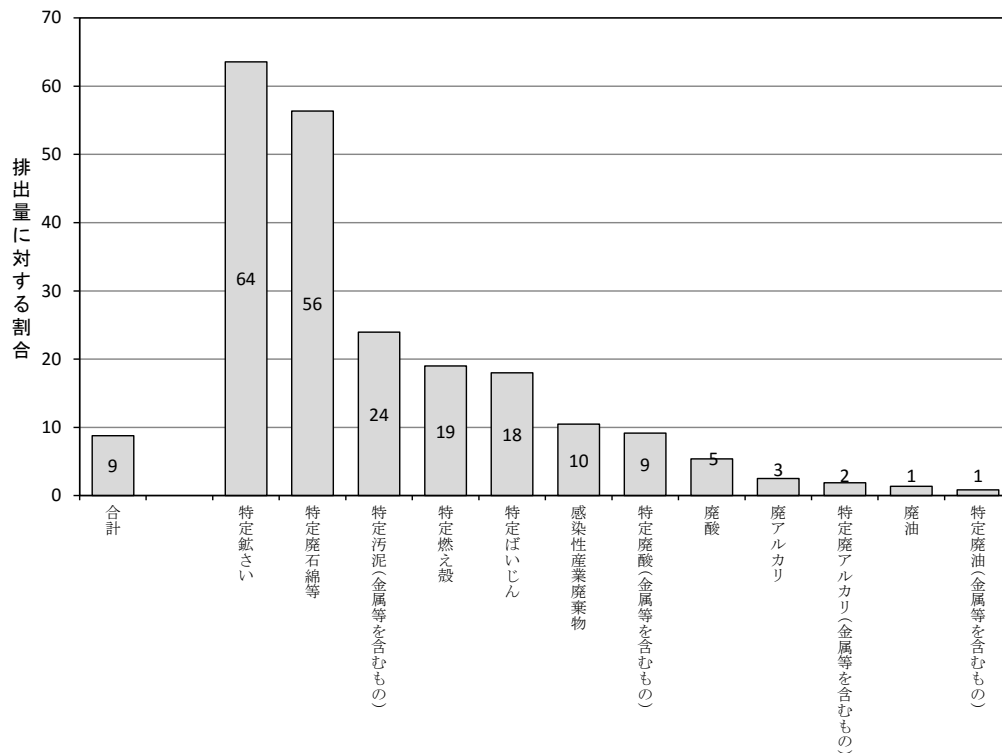
図一Ⅲ・9 特別管理産業廃棄物の減量化量の種類別内訳（平成26年度実績値）

（３）特別管理産業廃棄物の最終処分量

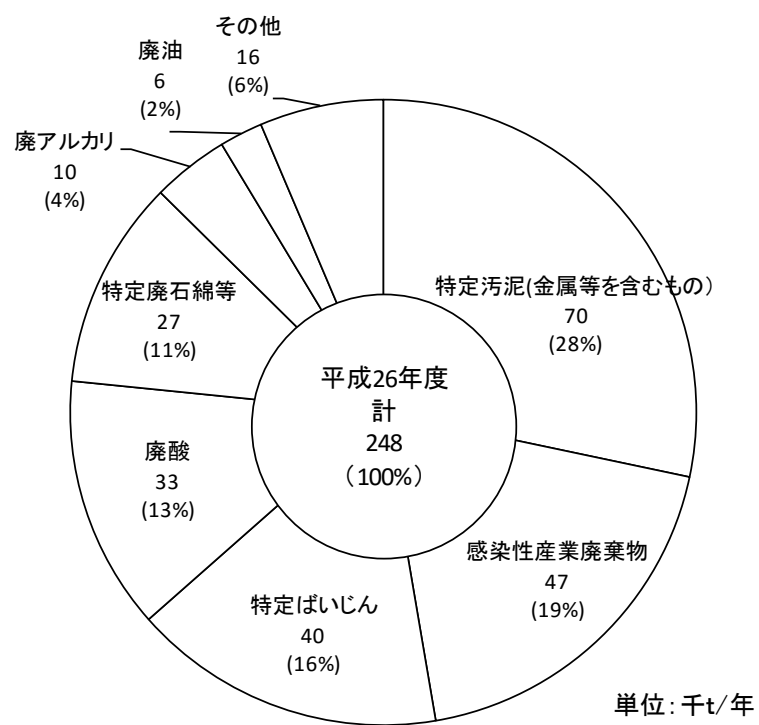
特別管理産業廃棄物の最終処分量は図－Ⅲ・４にしたように、総排出量約 2,821 千トンのうち約 248 千トン（全体の 9%）であった。

種類別にみると図－Ⅲ・10 に示すように、最終処分率の高い廃棄物は、特定鉱さいの 64%（約 5 千トン）、特定廃石綿等の 56%（約 27 千トン）、特定汚泥の 24%（約 70 千トン）であった。一方、最終処分率の低い廃棄物は、特定廃油の 1%（約 1 千トン）、廃油の 1%（約 6 千トン）、特定廃アルカリの 2%（約 4 千トン）、廃アルカリの 3%（約 10 千トン）等であった。

また、量的にみると図－Ⅲ・11 に示すように特定汚泥の約 70 千トン（同 28%）、感染性廃棄物の約 47 千トン（全体の 19%）、特定ばいじんの約 40 千トン（同 16%）が多く、合わせて最終処分量全体のおよそ 6 割を占めた。



図－Ⅲ・10 特別管理産業廃棄物の種類別最終処分率（平成 26 年度実績値）



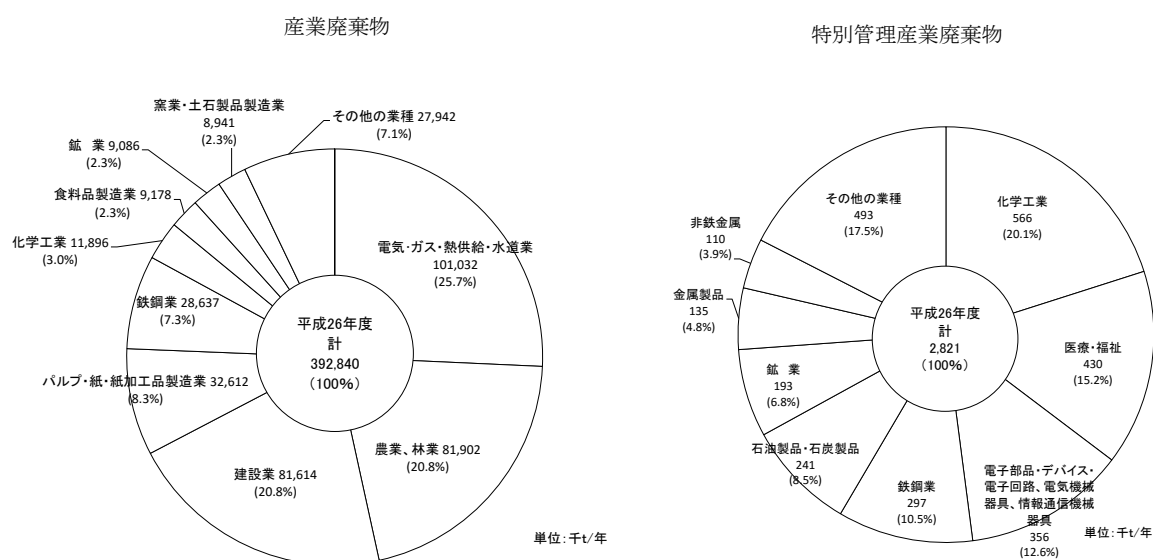
図－Ⅲ・11 特別管理産業廃棄物の最終処分量の種類別内訳（平成26年度実績値）

4. 特別管理産業廃棄物と産業廃棄物との比較

4-1 業種別排出量

特別管理産業廃棄物と産業廃棄物の排出業種を比較した結果を図一Ⅲ・12に示す。

産業廃棄物全体では、電気・ガス・熱供給・水道業、農林・漁業、建設業等からの排出量が多く、これらで全体の約7割を占めているが、一方、特別管理産業廃棄物ではこれらの業種からの排出量が全体に占める割合は低く、代わりに化学工業、医療・福祉、電子・電気・通信機械器具製造業、鉄鋼業、石油製品・石炭製品製造業等の比率が全体の7割を占めている。



図一Ⅲ・12 特別管理産業廃棄物と産業廃棄物の排出業種の比較（平成26年度実績値）

4-2 種類別排出量

特別管理産業廃棄物と産業廃棄物の排出量を種類別に比較した結果を表Ⅲ・10及び図Ⅲ・13に示す。産業廃棄物に占める特別管理産業廃棄物の割合は、1%以下である。しかし、廃油及び廃酸、廃アルカリに限った場合、特別管理産業廃棄物の占める割合は2割前後と高くなる。

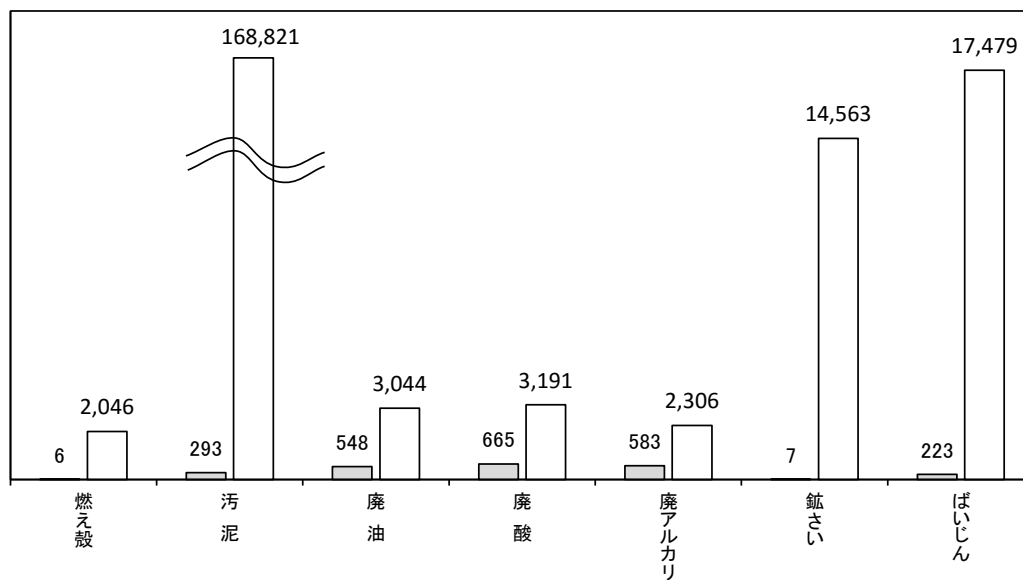
表Ⅲ・10 特別管理産業廃棄物と産業廃棄物の種類別排出量の比較（平成26年度実績値）

（単位：千t/年）

廃棄物種類	産業廃棄物 (特管含む)	特別管理産業廃棄物		特別管理 産業廃棄物の 占める割合	備考
			うち特定有害 廃棄物		
燃え殻	2,046	6	6	0.3%	
汚泥	168,821	293	293	0.2%	
廃油	3,044	548	137	18.0%	
廃酸	3,191	665	59	20.8%	
廃アルカリ	2,306	583	192	25.3%	
廃プラスチック類	6,509				
紙くず	985				
木くず	7,487				
繊維くず	103				
動植物性残渣	2,706				
動物系固形不要物	83				
ゴムくず	28				
金属くず	9,284				
ガラスくず、コンクリート 及び陶磁器くず	8,267				
鉱さい	14,563	7	7	0.0%	
がれき類	64,394				
動物のふん尿	81,416				
動物の死体	126				
ばいじん	17,479	223	223	1.3%	
合 計	392,840	2,821	965	0.7%	

※網掛け部分は該当する種類の特管物なし

□ 特別管理産業廃棄物 □ 産業廃棄物(特管含む)



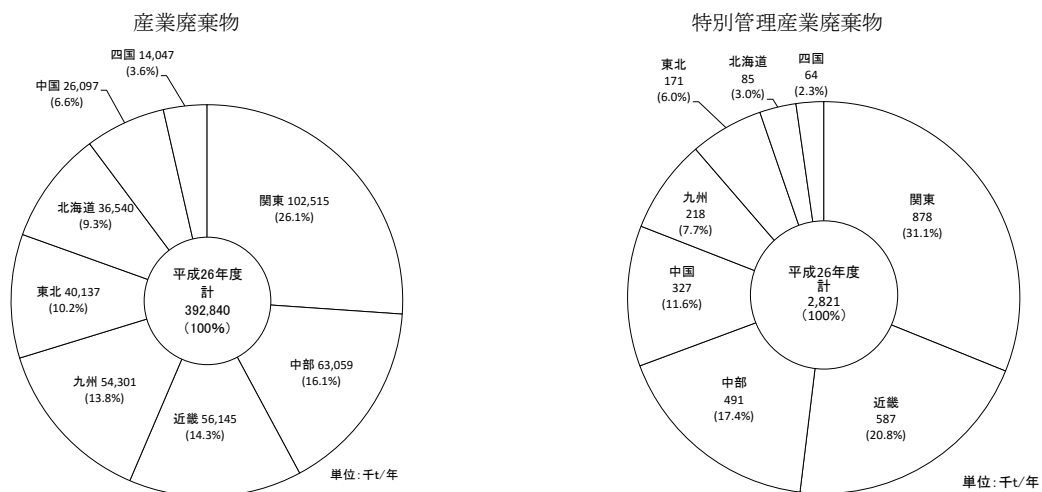
単位：千t/年

図Ⅲ・13 特別管理産業廃棄物と産業廃棄物の種類別排出量の比較（平成26年度実績値）

4－3 地域別排出量

特別管理産業廃棄物と産業廃棄物の排出量を地域別に比較した結果を図－Ⅲ・14 に示す。

産業廃棄物では、関東、中部、近畿、九州で約6割を占めているが、特別管理産業廃棄物では、関東、近畿、中部の3地域が約7割を占めている。

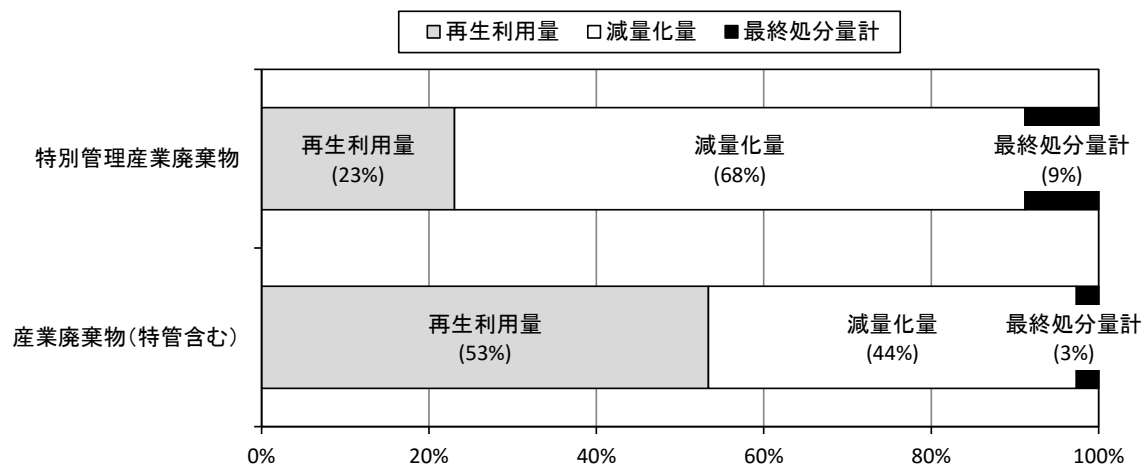


図－Ⅲ・14 特別管理産業廃棄物と産業廃棄物の排出地域の比較（平成26年度実績値）

4－4 処理処分状況

特別管理産業廃棄物と産業廃棄物の処理処分比率を比較した結果を図－Ⅲ・15 に示す。

特別管理産業廃棄物では、産業廃棄物に比べて、減量化量及び最終処分量の比率が高くなっている。



図－Ⅲ・15 特別管理産業廃棄物と産業廃棄物との処理処分の比較（平成26年度実績値）

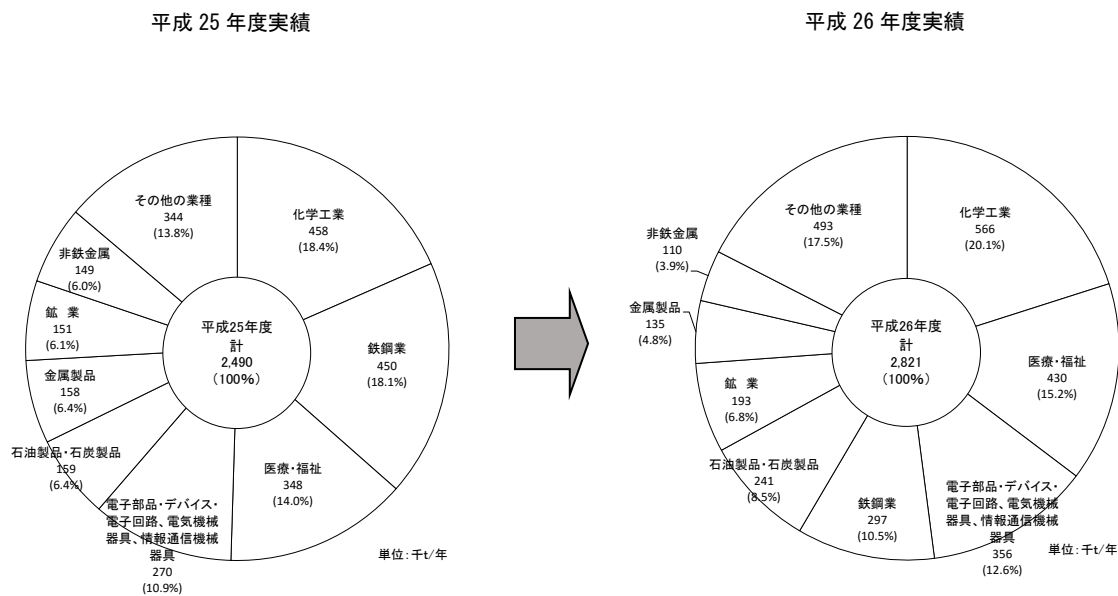
IV. まとめ

推計された特別管理産業廃棄物排出量及び処理・処分状況について、平成 25 年度実績との比較を行った。

1. 特別管理産業廃棄物の業種別排出量の比較

業種別排出量の比較を図－IV・1 に示す。平成 26 年度の排出量が多い上位の業種は、平成 25 年度実績から変動し、化学工業、医療・福祉、電子・電気・通信機械器具、鉄鋼業の順となった。

平成 26 年度の個別の業種別排出量は、上位 4 業種でみると、化学工業で約 108 千トン、医療・福祉で約 82 千トン、電子・電気・通信機械器具で約 86 千トン増加、鉄鋼業で約 153 千トンの減少となっている。



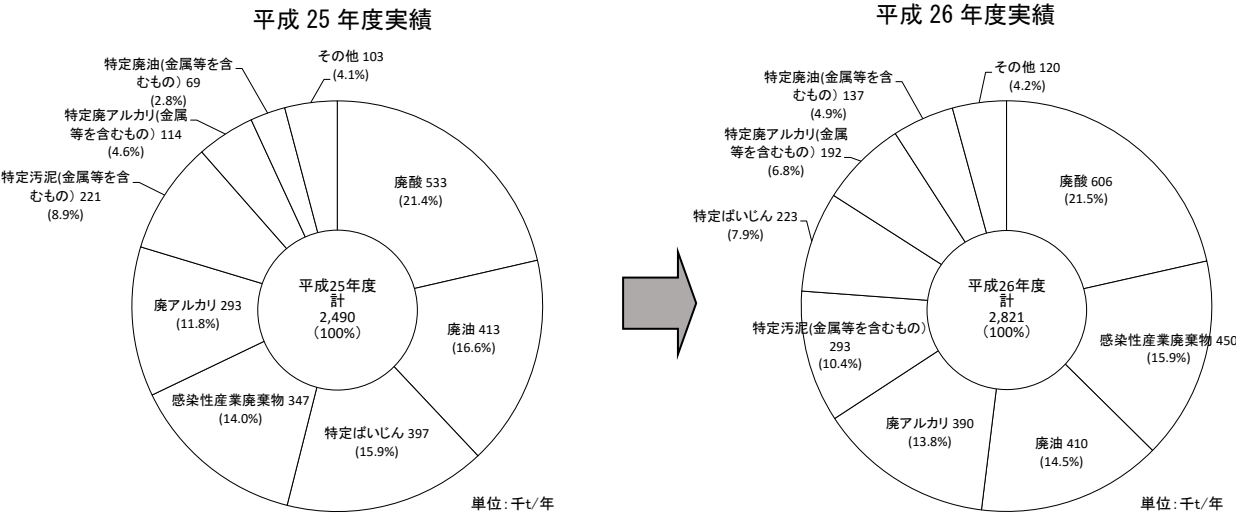
* 各業種の特別管理産業廃棄物排出量は、四捨五入してあるため合算した値は合計値と異なる。

図－IV・1 特別管理産業廃棄物の業種別排出量の比較（平成 26 年度実績値）

2. 特別管理産業廃棄物の種類別排出量の比較

種類別排出利用の比較を図－IV・2に示す。平成26年度の排出量が多い上位3位の特別管理産業廃棄物の種類は、平成25年度実績から変動し、廃酸、感染性廃棄物、廃油の順となった。

平成26年度の種類別排出量は、廃酸が約73千トン、感染性廃棄物は約103千トン増加しているのに対し、廃油が約3千トン減少している。



* 各業種の特別管理産業廃棄物排出量は、四捨五入してあるため合算した値は合計値と異なる。

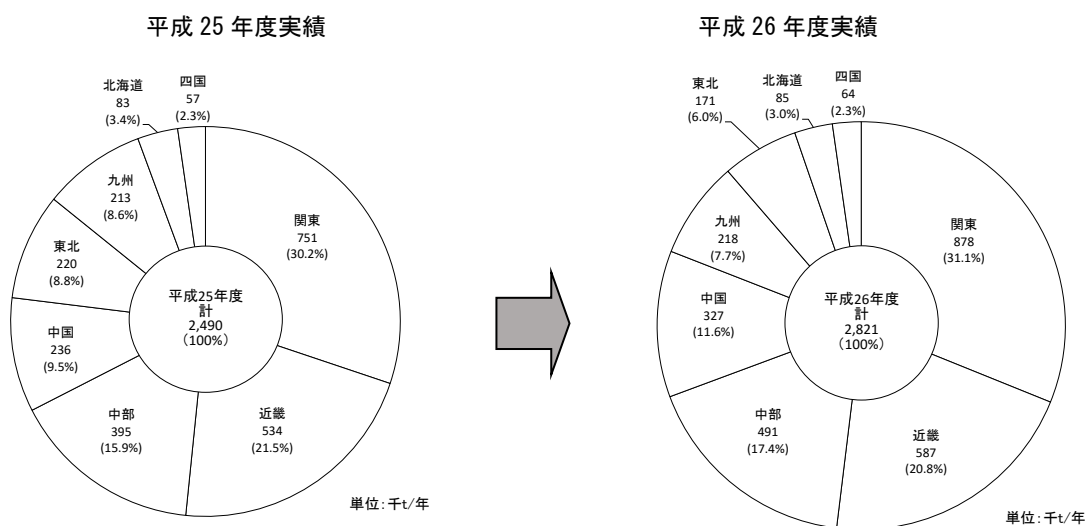
図－IV・2 特別管理産業廃棄物の種類別排出量の比較（平成26年度実績値）

3. 特別管理産業廃棄物の地域別排出量の比較

地域別排出量の比較を図－IV・3に示す。

平成26年度の特別管理産業廃棄物の地域別排出量は、平成25年度実績と比較すると、上位4地域に変動はないが、九州と東北の準位入れ替わっている。

平成25年度の地域別排出量は、上位3地域がいずれも増加し、関東地域で約127千トン、近畿地域で約53千トン、中部地域で約96千トン増加している。



* 各業種の特別管理産業廃棄物排出量は、四捨五入してあるため合算した値は合計値と異なる。

図－IV・3 特別管理産業廃棄物の地域別排出量の比較（平成26年度実績値）

資料編

I. 産業廃棄物排出・処理状況調査アンケート調査票及び記入要領

産業廃棄物排出・処理状況調査 調査票記入要領 (平成 26 年度実績 (確定値)・平成 27 年度実績 (速報値))

1. 調査の概要

本調査は、平成 26 年度実績 (確定値) 及び平成 27 年度実績 (速報値) の産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の排出及び処理状況を、都道府県別・業種別・廃棄物種類別に調査するものである。なお、調査結果は、環境省及び都道府県・政令市が産業廃棄物処理行政を推進するための基礎資料として活用するものとする。

2. 調査対象

調査は域内の産業廃棄物の排出・処理状況について、平成 26 年度実績調査及び平成 27 年度実績調査を実施した都道府県を対象とする。

3. 回答方法

貴都道府県の産業廃棄物排出・処理状況について、平成 26 年度実績及び平成 27 年度実績別に、同封する CD-R に保存されてある EXCEL ファイルに入力して提出していただく。なお、これらのファイル名において“〇〇県”を該当する都道府県名に修正すると、ファイル内の都道府県名が自動的に反映される。

○平成 26 年度実績調査 (確定値)

CD-R 中の「産廃調査票 (H26)」フォルダ内にある EXCEL ファイルのうち、平成 19 年あるいは平成 25 年改定の日本標準産業分類に基づき調査を行った場合は「A」のファイルを、平成 14 年改定以前の日本標準産業分類に基づき調査を行った場合は、「B」のファイルを使用する。

A : 産廃調査票 H26 (H19 以降改訂) _〇〇県.xls

B : 産廃調査票 H26 (H14 改訂) _〇〇県.xls

○平成 27 年度実績調査 (速報値)

CD-R 中の「産廃調査票 (H27)」フォルダ内にある下記の EXCEL ファイルのうち、平成 26 年度調査と同様に、調査時の産業分類に基づき、A、B のどちらか一方のファイルを使用する。

A : 産廃調査票 H27 (H19 以降改訂) _〇〇県.xls

B : 産廃調査票 H27 (H14 改訂) _〇〇県.xls

4. 調査票 (EXCEL ファイル) の構成

平成 26 年度実績調査、平成 27 年度実績調査ともに、調査票はⅠからⅢの 3 種 (合計 8 シート) で構成され、各項目の内容は次の通りである。

(1) 調査状況票 (4 シート : Ⅰ-1 ~ Ⅰ-4)

各都道府県で実施した既往の産業廃棄物調査の内容を調査するものである。調査項目は、調査時期、調査方法、対象事業所数などである。

(2) 産業廃棄物業種別・種類別排出量調査票 (2 シート : Ⅱ-1、Ⅱ-2)

産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物含む) 及び特別管理産業廃棄物 (産業廃棄物全体の内数) の業種別・種類別の排出量を調査するものである。平成 19 年及び平成 25 年改定の日本標準産業分類による業種分類を使用する場合は、中分類 (一部小分類) 以上を対象とする。(別表-1 参照)

(3) 産業廃棄物種類別排出・処理状況調査票（2シート：Ⅲ－1、Ⅲ－2）

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物含む）及び特別管理産業廃棄物（産業廃棄物全体の内数）の種類別の排出処理状況を調査するものである。排出処理状況は産業廃棄物排出・処理フローに基づくものである。（フロー図（別図－1）参照）

5. 記入要領

(1) 調査状況（**調査票Ⅰ－1**）

連絡先や調査時期などを「①調査状況」に記入する。

また、貴都道府県で実施された「調査報告書」を別途送付すること。

1) 連絡先及び担当者

調査結果等の問い合わせ先について、担当部課、電話番号・FAX、担当者、メールアドレスを記入する。

2) 調査実施概況

調査時期及び調査機関名を記入する。また、各都道府県で自ら行った場合は担当部課名を記入する。

(2) 調査方法（**調査票Ⅰ－2、3**）

- 「②産業廃棄物排出状況の調査方法（業種毎）」及び「④産業廃棄物処理状況の調査方法（処理区分毎）」について、排出状況及び処理状況の調査方法を、**別表－3**の調査方法コードの中から該当する調査方法を選び**コード番号で記入する**。未調査の場合は「－」を記入する。**複数回答の場合は、半角カンマで区切って記入する（例：3,4）。**

「その他」の場合は、コード番号「15」を記入し、備考欄に具体的な方法または名称を記入する。調査方法にコメントが必要な場合も、備考欄に記入する。

- 「③業種別排出量の算出方法」及び「⑤処理項目毎の推計量の算出方法」について、排出量及び処理量の算出方法を記入する。記入スペースが足りない場合は、シートを追加し記入する。なお、算出方法が記載されている資料を添付することも可とする。その場合は、当該算出方法をどの産業分類またはフロー図（別図－1）の項目について用いたかを明記する。

(3) 調査実施状況一覧（**調査票Ⅰ－4**）

「⑥調査実施状況一覧」に、下記の項目について可能な範囲で業種毎に該当欄に記入する。

- (a)～(d)には、該当する事業者数を記入する。
 - (a)調査対象事業所数 : 都道府県における調査対象業種の総事業所数
 - (b)抽出事業所数 : 調査対象事業所のうち、実際の調査対象（調査票の送付対象者）として抽出した事業所数
 - (c)回収事業所数 : 調査回答を回収した事業所数
 - (d)有効回答数 : 調査回答のうち集計に有効であった事業所数
 - (e)～(j)には、事業者調査データ等から都道府県全体への排出推計にあたって用いた活動量に係る事項を記入する。ここで、活動量とは、年間年間製造品出荷額（製造業）、年間元請完成工事高（建設業）、従業員数（サービス業等）のような、各業種における事業活動の度合いの指標となる数字の中から、統計情報が整備されていて利用しやすいものを使用する。
 - (e)集計活動量指標 : 有効回答である事業所の活動量の合計値
 - (f)母集団活動量指標 : 都道府県全体の調査対象業種の活動量の合計値
 - (g)集計廃棄物量 : 有効回答数に含まれる事業所の産業廃棄物量の合計値
 - (h)推計廃棄物量 : 推計によって算出した産業廃棄物量の合計値
 - (i)使用した活動量指標の名称 : (e)～(h)で使用した活動量の名称（資料調査の場合は資料名）
 - (j)活動量指標の単位 : 活動量の単位
- ※(g)、(h)の廃棄物量の単位は、“トン/年”とする（1トン未満は四捨五入）

(4) 産業廃棄物業種別・種類別排出量調査票 (調査票Ⅱ－１、２)

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）及び特別管理産業廃棄物（産業廃棄物全体の内数）の業種別・種類別の排出量を、該当欄に記入する。回答欄のうち、網掛け個所は記入しない。

特別管理産業廃棄物については、貴都道府県で実施された調査において調査対象とされた種類のみで可とする。

また、調査対象業種が中小分類の項目はできるだけ中小分類（薄オレンジ色のセル）で回答していただくが、取りまとめ上、大分類のみまでしか集計できていない場合は、大分類の欄（緑色のセル）に記入すること。

なお、単位はトン／年とし、１トン未満は四捨五入する。

排出量が０（ゼロ）の場合は『０』と明記し、未調査による不明箇所は空欄にする。

(5) 産業廃棄物種類別排出・処理状況調査票 (調査票Ⅲ－１、２)

産業廃棄物実態調査等の集計による産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）及び特別管理産業廃棄物（産業廃棄物全体の内数）の種類別処理処分量を該当欄に記入する。

排出量及び処理量のフロー図（別図－１）を参照して（４）と同要領で記入する。

産業廃棄物は発生から最終処分まで種類が変わらないものとして記入する。

また、処理区分はフロー図（別図－１）のとおりで回答していただくが、取りまとめ上、処理区分が自己処理、委託処理の区別がない合計量を計上している場合は、調査票右端にある所定の欄に記入すること。

また、フロー図（別図－１）の処理状況が適用できない場合は、貴都道府県における独自の処理状況を示す資料を添付すること。

別表－１ 調査対象業種の区分（平成 19、25 年度改訂の日本標準産業分類による）

大分類	中分類	小分類	細分類
(A)農業，林業	(A01)農業	(A011)耕種農業	
		(A012)畜産農業	
	(A02)林業		
(B)漁業	(B03)漁業		
	(B04)水産養殖業		
(C)鉱業，採石業，砂利採取業【鉱業】	(C)鉱業，採石業，砂利採取業		
(D)建設業	(D)建設業		
(E)製造業	(E09)食料品製造業		
	(E10)飲料・たばこ・飼料製造業		
	(E11)繊維工業		
	(E12)木材・木製品製造業		
	(E13)家具・装備品製造業		
	(E14)パルプ・紙・紙加工品製造業		
	(E15)印刷・同関連業		
	(E16)化学工業		
	(E17)石油製品・石炭製品製造業		
	(E18)プラスチック製品製造業		
	(E19)ゴム製品製造業		
	(E20)なめし革・同製品・毛皮製造業		
	(E21)窯業・土石製品製造業		
	(E22)鉄鋼業		
	(E23)非鉄金属製造業		
	(E24)金属製品製造業		
	(E25)はん用機械器具製造業		
	(E26)生産用機械器具製造業		
	(E27)業務用機械器具製造業		
	(E28)電子部品・デバイス・電子回路製造業		
	(E29)電気機械器具製造業		
	(E30)情報通信機械器具製造業		
	(E31)輸送用機械器具製造業		
	(E32)その他の製造業		
(F)電気・ガス・熱供給・水道業 【電気・水道業】	(F33)電気業		
	(F34)ガス業		
	(F35)熱供給業		
	(F36)水道業	(F361)上水道業	
		(F363)下水道業	
(G)情報通信業	(G37)通信業		
	(G38)放送業		
	(G39)情報サービス業		
	(G40)インターネット付随サービス業		
	(G41)映像・音声・文字情報制作業		
(H)運輸業，郵便業【運輸業】	(H42)鉄道業		
	(H43)道路旅客運送業		
	(H44)道路貨物運送業		
(I)卸売業，小売業 【卸・小売業】	(I50)各種商品卸売業		
	(I53)建築材料，鉱物・金属材料等卸売業	(I531)建築材料卸売業	(I5311)木材・竹材卸売業
	(I56)各種商品小売業		
	(I59)機械器具小売業	(I591)自動車小売業	
		(I593)機械器具小売業	
	(I60)その他の小売業	(I601)家具・建具・畳小売業	
		(I602)じゅう器小売業	
		(I605)燃料小売業	
(K)不動産業，物品賃貸業【不動産業】	(K70)物品賃貸業		
(L)学術研究，専門・技術サービス業 【学術研究】	(L71)学術・開発研究機関		
	(L74)技術サービス業	(L746)写真業	
(M)宿泊業，飲食サービス業【宿泊・飲食】	(M76)飲食店		
(N)生活関連サービス業，娯楽業【生活関連】	(N78)洗濯・理容・美容・浴場業	(N781)洗濯業	
(O)教育，学習支援業	(O)教育，学習支援業		
(P)医療，福祉【医療・福祉】	(P83)医療業		
(Q)複合サービス事業	(Q)複合サービス事業		
(R)サービス業（他に分類されないもの） 【サービス業】	(R89)自動車整備業	(R891)自動車整備業	
	(R95)その他のサービス業	(R952)と畜業	
(S)公務（他に分類されるものを除く）【公務】	(S)公務		

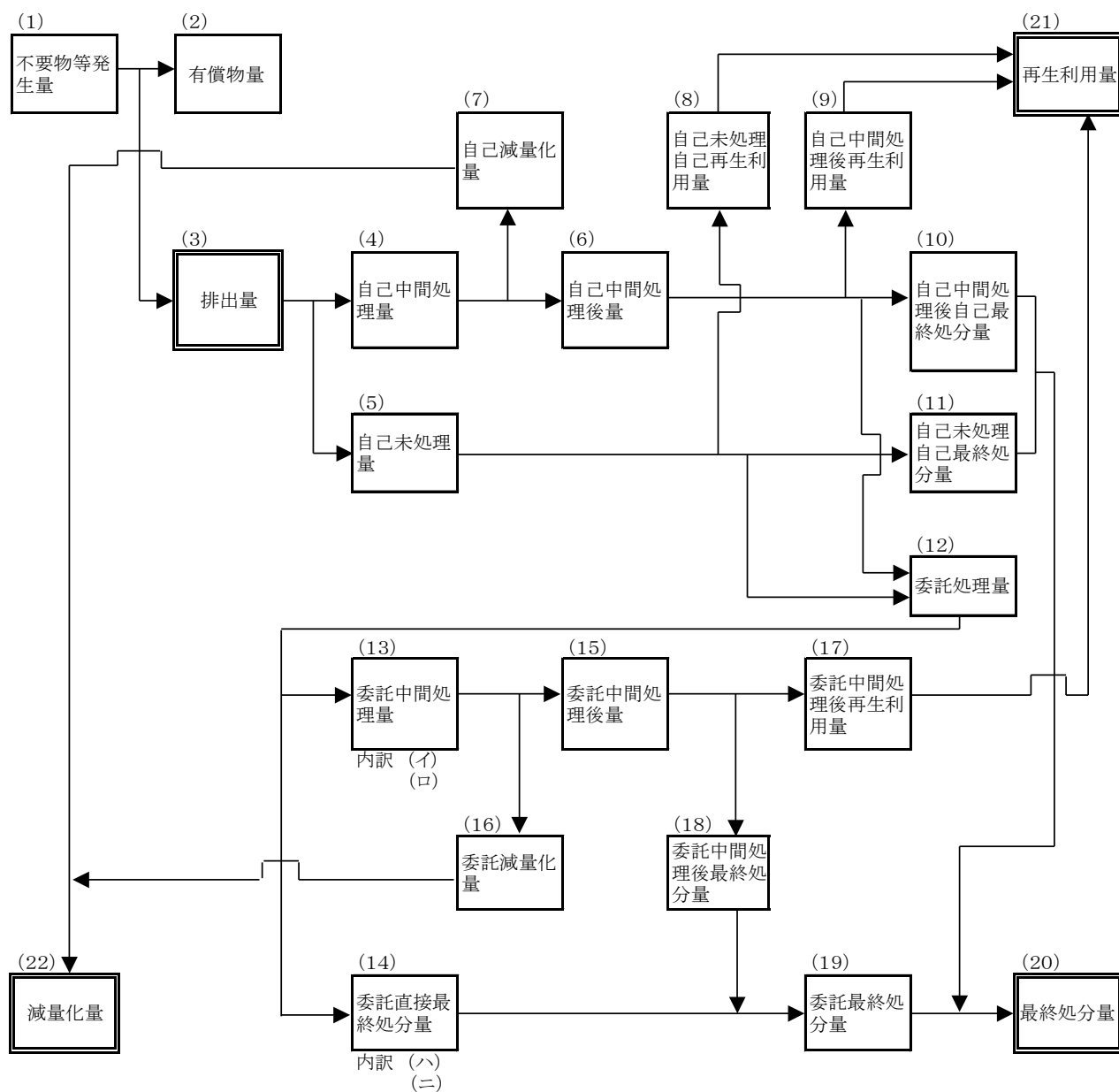
注)表中の（ ）は、日本標準産業分類の分類番号を、【 】は、略称を示す。

別表－２ 用語の定義

項 目		フロー図 No	定 義
不要物等発生量		(1)	事業場内等で生じた産業廃棄物量 ^(*) 及び有償物量
有償物量		(2)	(1)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
排出量		(3)	(1)の発生量のうち、(2)の有償物量を除いた量
自 己 処 理	自己中間処理量	(4)	(3)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
	自己未処理量	(5)	(3)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量
	自己中間処理後量	(6)	(4)で中間処理された後の廃棄物量
	自己減量化量	(7)	(4)の自己中間処理量から(6)の自己中間処理後量を差し引いた量
	自己未処理自己再生利用量	(8)	(5)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用 ^(*) した量
	自己中間処理後再生利用量	(9)	(6)の自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量
	自己中間処理後自己最終処分量	(10)	(6)の自己中間処理後量のうち、自己の埋立地に処分した量
	自己未処理自己最終処分量	(11)	(5)の自己未処理量のうち、自己の埋立地に処分した量
委 託 処 理	委託処理量	(12)	(6)の自己中間処理後量及び(5)の自己未処理量のうち中間処理及び最終処分を委託した量
	委託中間処理量	(13)	(12)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
	委託直接最終処分量	(14)	(12)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
	委託中間処理後量	(15)	(13)で中間処理された後の廃棄物量
	委託減量化量	(16)	(13)の委託中間処理量から(15)の委託中間処理後量を差し引いた量
	委託中間処理後再生利用量	(17)	(15)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量
	委託中間処理後最終処分量	(18)	(15)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量
	委託最終処分量	(19)	処理業者等で最終処分された量
最終処分量		(20)	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
再生利用量		(21)	排出事業者、処理業者等で再生利用された量
減量化量		(22)	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量

(*)建設業以外からのがれき類の排出は事業者が自ら解体した場合に限られ、建設工事等における排出事業者には、原則として元請け業者が該当する。

(*)「自ら利用」：排出者が自己の生産工程へ投入して原材料として使用する場合は「自ら利用」に該当する。なお、抜根の森林への自然還元についても「自ら利用」に該当する。



注) (イ); (5)のうち委託中間処理された量
 (ロ); (6)のうち "
 (ハ); (5)のうち委託最終処分された量
 (ニ); (6)のうち "

別図 ー 1 排出量及び処理状況のフロー図
 (都道府県内で排出され、都道府県内及び都道府県外で処理処分した合計量)

別表－３ 調査方法コード

調査方法				コード番号
排出事業者に対する調査	全数調査			1
	標本調査	全県一律	単純無作為抽出	2
			層別無作為抽出	3
		地域分割	単純無作為抽出	4
			層別無作為抽出	5
	資料調査			6
処理業者に対する調査	全数調査			7
	標本調査			8
	資料調査			9
行政報告利用法		多量排出事業者に関する報告		10
		処理業者の実績に関する報告		11
		その他法的な報告		12
過去調査結果利用法		過去調査時の原単位を使用する方法		13
		原単位以外で前回結果を使用する方法		14
その他				15

「全数調査」：統計で、対象となる集団全部をもれなく調査すること。

「標本調査」：母集団から標本を抜き出して、それについて調査し、数学的（確率論的）に母集団の性質を推測すること。

「資料調査」：既に公表されている統計資料等にもとづいて調査すること。

調査票 I - 1

調査票 I - 1

都道府県名

平成26年度実績産業廃棄物排出・処理状況調査票(実績値)

(H19,25改訂産業分類対応版)

①調査状況

1) 連絡先及び担当者

担当部課名	部(局)		課(室)		係
電話番号(代表/直通)		内 線		FAX	
担当者名		メールアドレス			

2) 調査実施概況

調査時期		調 査 機 関 名
平成 年 月 ～ 平成 年 月		

調査票 I-2

調査票 I-2 (H19.25改訂産業分類対応版)

②産業廃棄物排出状況の調査方法(業種毎)

- * 産業廃棄物の排出状況の調査方法を、「調査票記入要領」の「別表-3」から選び、コード番号を記入してください。
- * 未調査の場合は「-」を入力してください。
- * 複数回答の場合は半角カンマで区切って入力してください(例:3,4)。
- * 調査対象業種が中小分類の項目は、中小分類(薄オレンジのセル)に記入してください。取りまとめ上、大分類のみの場合は、大分類(緑のセル)に記入してください。
- * 調査方法にコメントが必要な場合は備考欄に記入してください。

都道府県名 実績年度 平成 26 年度

③業種別排出量の算出方法

- * 業種毎の排出量の算出方法をご記入下さい。記入スペースが足りない場合は、シートを追加しご記入下さい。
- * 算出方法が記載されている資料を添付していただくことも可とするが、当該算出方法をどの産業分類で用いたか明記すること。

大分類	番号	産業分類			コード	調査方法の種類 排出状況調査	備考
		中分類	小分類	細分類			
(A) 農業、林業		農業、林業大分類			A		
	1	農業	耕種農業		A011		
	2		畜産農業		A012		
	3	林業			A02		
	4	上記以外の農業、林業					
(B) 漁業		漁業大分類			B		
	5	漁業			B03		
(C) 鉱業	6	水産養殖業			B04		
	7	鉱業、採石業、砂利採取業			C		
(D) 建設業	8	建設業			D		
(E) 製造業		製造業大分類			E		
	9	食料品製造業			E09		
	10	飲料・たばこ・飼料製造業			E10		
	11	繊維工業			E11		
	12	木材・木製品製造業			E12		
	13	家具・装飾品製造業			E13		
	14	パルプ・紙・紙加工品製造業			E14		
	15	印刷・関連産業			E15		
	16	化学工業			E16		
	17	石油製品・石炭製品製造業			E17		
	18	プラスチック製品製造業			E18		
	19	ゴム製品製造業			E19		
	20	なめし革・同製品・毛皮製造業			E20		
	21	窯業・土石製品製造業			E21		
	22	鉄鋼業			E22		
	23	非鉄金属製造業			E23		
	24	金属製品製造業			E24		
	25	はん用機械器具製造業			E25		
	26	生産用機械器具製造業			E26		
	27	業務用機械器具製造業			E27		
	28	電子部品・デバイス・電子回路製造業			E28		
	29	電気機械器具製造業			E29		
	30	情報通信機械器具製造業			E30		
	31	輸送用機械器具製造業			E31		
	32	その他の製造業			E32		
(F) 電気・ガス・熱供給・水道業		電気・ガス・熱供給・水道業大分類			F		
	33	電気業			F33		
	34	ガス業			F34		
	35	熱供給業			F35		
	36	水道業	上水道業		F361		
	37		下水道業		F363		
	(G) 情報通信業		情報通信業大分類			G	
38		通信業			G37		
39		放送業			G38		
40		情報サービス業			G39		
41		インターネット付随サービス業			G40		
42		映像・音声・文字情報制作業			G41		
43		運輸業、郵便業大分類			H		
(H) 運輸業、郵便業	44	鉄道業			H42		
	45	道路旅客運送業			H43		
	46	道路貨物運送業			H44		
	47	上記以外の運輸業、郵便業					
(I) 卸売業、小売業		卸売業、小売業大分類			I		
	48	各種商品卸売業			I50		
	49	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	建築材料卸売業		I5311		
	50		木材・竹材卸売業		I56		
	51	機械器具小売業	自動車小売業		I591		
	52		機械器具小売業		I593		
	53	その他の小売業	家具・建具・量小売業		I601		
	54		じゅう器小売業		I602		
	55		燃料小売業		I605		
	56	上記以外の卸売業、小売業					
(K) 不動産業、物品賃貸業		不動産業、物品賃貸業大分類			K		
	57	物品賃貸業			K70		
(L) 学術研究、専門・技術サービス業		学術研究、専門・技術サービス業大分類			L		
	58	学術・開発研究機関			L71		
	59	技術サービス業			L746		
(M) 宿泊業、飲食サービス業		宿泊業、飲食サービス業大分類			M		
	60	宿泊業、飲食サービス業			M76		
(N) 生活関連サービス業、娯楽業	61	上記以外の宿泊業、飲食サービス業					
	62	生活関連サービス業、娯楽業大分類			N		
(O) 教育、学習支援業	63	洗濯・理容・美容・浴場業	洗濯業		N781		
	64	教育、学習支援業			O		
(P) 医療、福祉	65	医療、福祉大分類			P		
	66	医療業			P83		
(Q) 複合サービス事業	67	上記以外の医療、福祉					
	68	複合サービス事業			Q		
(R) サービス業		サービス業大分類			R		
	69	自動車整備業			R891		
	70	その他のサービス業			R952		
(S) 公務		上記以外のサービス業					
	71	公務			S		

都道府県名	実績年度	平成26年度
-------	------	--------

(H19.25改訂産業分類対応版)

調査票 I-3

- * 産後医療費の処理方法の詳細は「医療費記入要領」の別表-3から選び、コード番号を記入してください。
- * 同席者の場合は、「一」を入力してください。
- * 複数回答の場合は半角カタで区切って入力してください(例：3,4)。
- * 調査方法にコメントが必要な場合は備考欄に記入ください。

[illegible]

○個別に調査方法が相違する場合は、下表に廃棄物の種類を記入し、それぞれの調査方法の種類をご回答ください。

- ◆産業建築物の処理状況の調査方法を、「調査記入要領」の別表-3から選び、二十番号を記入してください。
- ◆木質炭の場合は「ー」を入力してください。
- ◆埋戻し土の場合は半角カンマで区切ってください(例:3.4)。
- ◆廃棄物の種類の調査欄が不足した場合は、行を追加ください。

[illegible]

英方主權の堅持の毎日新聞外⑤

- * 処理項目ごとの集計方法を記入してはいない。記入すべき項目は、シートを追加記入下さい。
- * 算出方法が記されている資料を添付していただくことも可とするが、当該算出方法をそのフロー図の項目に用いたが明記すること。

--

調査票 I-4

調査票 I-4

(H19.25改訂産業分類対応版)

都道府県名 ○○県 実績年度 平成 26 年度

⑥調査実施状況一覧

- ※ 色付きのセルのみ記入してください。調査対象業種が中小分類の項目は、中小分類(薄オレンジのセル)に記入してください。取りまとめ上、大分類のみの場合は、大分類(緑のセル)に記入してください。
- ※ 記入にあたっては、「調査票記入要領」の5. 記入要領をご参照ください。
- ※ 記入にあたってのポイント
 - ・回答欄(a)～(d)には、該当する事業所数を記入してください。
 - ・回答欄(e)～(h)には、事業者調査データ等から都道府県全体への排出量の拡大増計にあたって用いた活動量に関して記入してください。
 - ・回答欄(i)、(j)の廃棄物量の単位は、「トン/年」(トン未満は四捨五入)としてください。
 - ※活動量とは、年間製造品出荷額(製造業)、年間調製完成工事高(建設業)、従業員数(サービス業等)のような、各業種における事業活動の度合いの指標となる数字を指します。その中から、統計情報が整備されていて利用しやすいものを使ってください。

				該当する事業所数を記入してください								事業所データ等から都道府県全体への排出量の拡大推計にあたって用いた活動量について記入してください					使用した活動量の名称(資料調査の場合は資料名)を記入してください	活動量の単位を記入してください		
大分類	番号	産業分類			コード	調査対象事業所数	抽出事業所数	抽出率	回収事業所数	回収率	有効回答数	有効回答回収率	集計活動量指標	母集団活動量指標	指標力パー率	集計廃棄物量	推計廃棄物量	廃棄物量の捕捉率	使用した活動量指標(例 従業員数、年間製造品出荷額など)	活動量指標の単位(例 百万円、人など)
		中分類	小分類	細分類		(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(c)/(b)	(d)	(d)/(a)	(e)	(f)	(e)/(f)	(g)	(h)	(g)/(h)	(i)	(j)
(A) 農業、林業		農業、林業大分類			A															
	1	農業	耕種農業		A011															
	2		畜産農業		A012															
	3	林業	畜産農業		A02															
(B) 漁業		漁業大分類			B															
	5	漁業			B03															
	6	水産養殖業			B04															
	7	鉱業、採石業、砂利採取業			C															
(C) 鉱業																				
(D) 建設業																				
(E) 製造業		製造業大分類			E															
	9	食料品製造業			E09															
	10	飲料・たばこ・製煙製造業			E10															
	11	繊維工業			E11															
	12	木材・木製品製造業			E12															
	13	家具・寝具製品製造業			E13															
	14	パルプ・紙・紙加工品製造業			E14															
	15	印刷・刷写製造業			E15															
	16	化学工業			E16															
	17	石油製品・石炭製品製造業			E17															
	18	プラスチック製品製造業			E18															
	19	ゴム製品製造業			E19															
	20	なめし革・皮革製品・毛皮製造業			E20															
	21	金属・土石製品製造業			E21															
	22	鉄鋼業			E22															
	23	非鉄金属製造業			E23															
24	金属製品製造業			E24																
25	はん用機械器具製造業			E25																
26	生産用機械器具製造業			E26																
27	業務用機械器具製造業			E27																
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業			E28																
29	電気機械器具製造業			E29																
30	情報通信機械器具製造業			E30																
31	輸送用機械器具製造業			E31																
32	その他の製造業			E32																
(F) 電気・ガス・熱供給・水道業		電気・ガス・熱供給・水道業大分類			F															
	33	電気業			F33															
	34	ガス業			F34															
	35	熱供給業			F35															
	36	水道業		上水道業	F361															
	37			下水道業	F362															
(G) 情報通信業		情報通信業大分類			G															
	38	通信業			G37															
	39	放送業			G38															
	40	情報サービス業			G39															
	41	インターネット付随サービス業			G40															
	42	映像・音声・文字情報制作業			G41															
(H) 運輸業、郵便業		運輸業、郵便業大分類			H															
	43	鉄道業			H42															
	44	道路旅客運送業			H43															
	45	道路貨物運送業			H44															
	46	上記以外の運輸業、郵便業																		
	(I) 卸売業、小売業		卸売業、小売業大分類			I														
47		各種商品卸売業			I50															
48		建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	建築材料卸売業	木材・竹材卸売業	I511															
49		各種商品小売業			I56															
50		機械器具小売業	自動車小売業		I581															
51			機械器具小売業		I583															
52			家具・建具・畳小売業		I601															
53		その他の小売業	じゅうりょう小売業		I602															
54			燃料小売業		I605															
55		上記以外の卸売業、小売業																		
(K) 不動産業、物品賃貸業		不動産業、物品賃貸業大分類			K															
	56	物品賃貸業			K70															
(L) 学術研究、専門・技術サービス業		学術研究、専門・技術サービス業大分類			L															
	57	学術・開発研究機関			L71															
	58	技術サービス業		写真業	L746															
(M) 宿泊業、飲食サービス業		宿泊業、飲食サービス業大分類			M															
	59	飲食店			M76															
	60	上記以外の宿泊業、飲食サービス業																		
(N) 生活関連サービス業、娯楽業		生活関連サービス業、娯楽業大分類			N															
	61	映画・演劇・実演・娯楽業		花道業	N781															
	62	教育、学習支援業			O															
(P) 医療、福祉		医療、福祉大分類			P															
	63	医療業			P63															
	64	上記以外の医療、福祉																		
(Q) 複合サービス事業		複合サービス事業			Q															
	65	サービス業大分類			R															
(R) サービス業		サービス業大分類			R															
	66	自動車整備業		自動車整備業	R691															
	67	その他のサービス業		上記	R692															
68	上記以外のサービス業																			
(S) 公安					S															
69	公安				S															

調査票Ⅱ-1

調査票Ⅱ-1

(H19.25改訂産業分類対応版)

都道府県名	実績年度	平成26年度
-------	------	--------

産業廃棄物業種別・種類別排出量調査票（産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む。）業種別・種類別排出量）

- ・産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む。）の業種別・種類別の排出量を記入してください。
- ・排出量が「0（ゼロ）」の場合は「0」と明記し、未調査による不明箇所は空欄にしてください。
- ・下記2の種類の以外の産業廃棄物（混合物、製品廃棄物等）については、排出量への比例配分等により下記の種類の種類に含めるようにしてください。
- ・調査対象廃棄物は、中分類別（資源/燃焼/その他）に記入してください。取扱いおよび、大分類別の場合は、大分類（燃焼/その他）に記入してください。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令に規定する業種に該当しない産業廃棄物項目については、その業種指定箇所を二重枠で囲みつけてください（その以外の箇所は回答不要）。なお、「木くず」の二重枠以外は、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずについて記載するものとします。

(単位:トン/年)

大分類	産業分類	コード	燃え殻	汚泥	廃油	産業廃	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	船舶解体	動物死体等	ゴミ等	金属くず	ガラス・陶磁器・プラスチック類等	紙くず	ガラス類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	合計	
農業、林業	農業、林業大分類	A																					
	1 雑糧農業	A011																					
	2 畜産農業	A012																					
	3 林業	A02																					
	上記以外の農業、林業																						
漁業	漁業大分類	B																					
	5 漁業	B03																					
	6 水産養殖業	B04																					
鉱業	7 鉱業、採石業、砂利採取業	C																					
建設業	8 建設業	D																					
製造業	製造業大分類	E																					
	9 食料品製造業	E09																					
	10 飲料・たばこ・飼料製造業	E10																					
	11 繊維工業	E11																					
	12 木材・木製品製造業	E12																					
	13 家具・寝具製造業	E13																					
	14 パルプ・紙・紙加工品製造業	E14																					
	15 印刷・関連産業	E15																					
	16 化学工業	E16																					
	17 石油製品・石炭製品製造業	E17																					
	18 プラスチック製品製造業	E18																					
	19 ゴム製品製造業	E19																					
	20 化粧品・医薬品・化粧品製造業	E20																					
	21 皮革・土器製品製造業	E21																					
	22 鉄鋼業	E22																					
	23 非鉄金属製造業	E23																					
	24 金属製品製造業	E24																					
	25 はん用機械器具製造業	E25																					
	26 生産用機械器具製造業	E26																					
	27 業務用機械器具製造業	E27																					
	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	E28																					
	29 電気機械器具製造業	E29																					
	30 情報通信機械器具製造業	E30																					
	31 輸送用機械器具製造業	E31																					
	32 その他製造業	E32																					
	電気・ガス・熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業大分類	F																				
		33 電気業	F33																				
		34 ガス業	F34																				
		35 熱供給業	F35																				
		36 上水道業	F361																				
		37 下水道業	F363																				
		38 下水道業	F363																				
情報通信業	情報通信業大分類	G																					
	38 通信業	G37																					
	39 放送業	G38																					
	40 情報サービス業	G39																					
	41 インターネット付随サービス業	G40																					
	42 映像・音声・文字情報制作業	G41																					
	43 映像・音声・文字情報制作業	G41																					
運輸業、郵便業	運輸業、郵便業大分類	H																					
	43 鉄道業	H42																					
	44 道路旅客運送業	H43																					
	45 道路貨物運送業	H44																					
	46 道路貨物運送業	H44																					
	上記以外の運輸業、郵便業																						
卸売業、小売業	卸売業、小売業大分類	I																					
	47 各種商品卸売業	I00																					
	48 木材・竹材卸売業	I011																					
	49 各種商品小売業	I06																					
	50 自動車小売業	I091																					
	51 機械器具小売業	I093																					
	52 家具・建具・寝具小売業	I001																					
	53 衣類小売業	I002																					
	54 燃料小売業	I005																					
	上記以外の卸売業、小売業																						
不動産業、物品賃貸業	不動産業、物品賃貸業大分類	K																					
	56 物品賃貸業	K70																					
	57 不動産業、物品賃貸業	K70																					
	58 不動産業、物品賃貸業	K70																					
学術研究、開発サービス業	学術研究、開発サービス業大分類	L																					
	57 学術・開発研究機関	L71																					
	58 学術業	L760																					
	59 学術業	L760																					
宿泊業、飲食サービス業	宿泊業、飲食サービス業大分類	M																					
	59 飲食店	M76																					
	60 上記以外の宿泊業、飲食サービス業																						
	61 生活関連サービス業、娯楽業大分類	N																					
生活関連サービス業、娯楽業	61 娯楽業	N761																					
	62 教育、学習支援業	O																					

調査票Ⅱ－２

調査票Ⅱ－２

(H19.25改訂産業分類対応版)

都道府県名		実績年度	平成26年度
-------	--	------	--------

産業廃棄物業種別・種類別排出量調査票(特別管理産業廃棄物(産業廃棄物全体の内数)の業種別・種類別排出量)

- * 特別管理産業廃棄物(産業廃棄物全体の内数)の業種別・種類別の排出量を記入してください。
 * 排出量が「0(ゼロ)」の場合は「0」と明記し、未調査による不明箇所は空欄にしてください。
 * 特別管理産業廃棄物は、貴都道府県で実施された調査において調査対象とされた種類までで構いません。
 * 調査対象業種が中小分類の項目は、中小分類(薄オレンジのセル)に記入してください。取りまとめ上、大分類(緑のセル)に記入してください。

(単位:トン/年)

大分類	番号	産業分類	コード	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性 産業廃棄物	鉱さい	廃石棉等	燃え殻	ばいじん	特定有害産業廃棄物 廃油 (金属等を含むもの)	汚泥 (金属等を含むもの)	廃酸 (金属等を含むもの)	廃アルカリ (金属等を含むもの)	合 計
農業、林業		農業、林業大分類	A													
	1	耕種農業	A011													
	2	畜産農業	A012													
	3	林業	A02													
漁業	4	上記以外の農業、林業														
		漁業大分類	B													
	5	漁業	B03													
鉱業	6	水産養殖業	B04													
	7	鉱業、採石業、砂利採取業	C													
建設業	8	建設業	D													
製造業		製造業大分類	E													
	9	食料品製造業	E09													
	10	飲料・たばこ・飼料製造業	E10													
	11	繊維工業	E11													
	12	木材・木製品製造業	E12													
	13	家具・装飾品製造業	E13													
	14	パルプ・紙・紙加工品製造業	E14													
	15	印刷・同梱造業	E15													
	16	化学工業	E16													
	17	石油製品・石炭製品製造業	E17													
	18	プラスチック製品製造業	E18													
	19	ゴム製品製造業	E19													
	20	なめし革・同製品・毛皮製造業	E20													
	21	窯業・土石製品製造業	E21													
	22	鉄鋼業	E22													
	23	非鉄金属製造業	E23													
	24	金属製品製造業	E24													
	25	はん用機械器具製造業	E25													
	26	生産用機械器具製造業	E26													
	27	業務用機械器具製造業	E27													
	28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	E28													
	29	電気機械器具製造業	E29													
	30	情報通信機械器具製造業	E30													
	31	輸送用機械器具製造業	E31													
	32	その他の製造業	E32													
電気・ガス・ 熱供給・ 水道業		電気・ガス・熱供給・水道業大分類	F													
	33	電気業	F33													
	34	ガス業	F34													
	35	熱供給業	F35													
	36	上水道業	F361													
情報通信業	37	下水道業	F363													
		情報通信業大分類	G													
	38	通信業	G37													
	39	放送業	G38													
	40	情報サービス業	G39													
	41	インターネット付随サービス業	G40													
	42	映像・音声・文字情報制作業	G41													
運輸業、 郵便業		運輸業、郵便業大分類	H													
	43	鉄道業	H42													
	44	道路旅客運送業	H43													
	45	道路貨物運送業	H44													
	46	上記以外の運輸業、郵便業														
卸売業、 小売業		卸売業、小売業大分類	I													
	47	各種商品卸売業	I50													
	48	木材・竹材卸売業	I5311													
	49	各種商品小売業	I56													
	50	自動車小売業	I591													
	51	機械器具小売業	I593													
	52	家具・寝具・畳小売業	I601													
	53	じゅう器小売業	I602													
	54	燃料小売業	I605													
不動産業、 物品賃貸業	55	上記以外の卸売業、小売業														
		不動産業、物品賃貸業大分類	K													
学術研究、専門・ 技術サービス業	56	物品賃貸業	K70													
		学術研究、専門・技術サービス業大分類	L													
	57	学術・開発研究機関	L71													
宿泊業、飲食 サービス業	58	写真業	L746													
		宿泊業、飲食サービス業大分類	M													
	59	飲食店	M76													
生活関連サー ビス業、娯楽業	60	上記以外の宿泊業、飲食サービス業														
		生活関連サービス業、娯楽業大分類	N													
	61	洗濯業	N781													
教育、学習支援業	62	教育、学習支援業	O													
		医療、福祉大分類	P													
医療、福祉	63	医療業	P83													
	64	上記以外の医療、福祉														
教育、学習支援業	65	複合サービス事業	Q													
		サービス業大分類	R													
	66	自動車整備業	R891													
サービス業	67	と畜場	R952													
	68	上記以外のサービス業														
公務	69	公務	S													
		合計														

調查票Ⅲ-1

(H19.25改訂産業分類対応版)

産業廃棄物種類別排出・処理状況調査票（産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の種類別処理処分量）

*産業廃棄物(特別産業廃棄物を含む。)の種類別処理処分量を記入してください。

*産業廃棄物は発生から最終処分まで種類が変わらないものとして記入してください。

- * 産茶廃棄物は先王がら取除処分より種類が多わらないものとして記入してください。
- * 排出量が【0(ゼロ)】の場合は【0と明記】 未調査による不明箇所は空欄にてください。

*田中重吉が「ひれ」の語を「明記し、未調査による不明箇所は空欄として下さい。」

*処理区分はつり一図のとおりで回答してください。

*フロー図の処理状況が適用できない場合は、貴都道府県で実施した独自の処理状況を添付してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(単位:トシ/年)

[illegible]

(*)動物のふん尿における再生利用及び中間処理についての考え方は以下のとおり。

- ・再生利用:たい肥として利用、生ふんのまま施用、たい肥化の過程における水分減少、浄化処理等

・中間処理：捨金内における水分蒸発、堆肥施設における堆肥処理
・中水利用：たばこ工場、王宮などのトイレ、バスタブの週に一度

産業廃棄物種類別排出・処理状況調査票（特別管理産業廃棄物（産業廃棄物全体の内数）の種類別処理処分量）

＊特別管理産業廃棄物（産業廃棄物全体の内数）の種類別処理処分量を記入してください。
＊産業廃棄物は発生から最終処分まで種類が変わらないものとして記入してください。
＊排出量が「ゼロ」の場合は「不明」として記入し、未調査による不明箇所は空欄にしてください。
＊処理区分は「フロー図」のおりで回答してください。取りまとめ上、処理区分が自己処理、委託処理の区別がない合計値を計上している場合は、下表右欄にある所定の欄に記入してください。
＊「フロー図」の処理状況が適用できない場合は、貴都道府県で実施した独自の処理状況を添付してください。

都道府県名	実施年度	平成26年度
-------	------	--------

フロー図の項目		排出量	自己中間処理量	自己未処理量	自己減量化量	自己再生処理量	自己利用中間処理後量	自己最終処分後量	自己最終処分量	委託処理量	委託中間処理量			委託最終処分量			委託中間処理後量	委託減量化量	委託利用中間処理後量	委託最終処分後量	合計量で把握している場合はこへ記入する。							
											処（5）理（さ）れ（の）量（る）	処（6）理（さ）れ（の）量（る）	委託中間処理量	処（5）理（さ）れ（の）量（る）	処（6）理（さ）れ（の）量（る）	委託最終処分量					委託最終処分後量	直接発生処理量	直接最終処分量	中間処理量	中間処理後量	再生利用量		
廃棄物の種類	廃油																						(8)	(11)×(14)÷(7)	(4)×(13)÷(7)	(9)×(17)	(10)×(14)÷(18)	
	廃酸																											
	廃アルカリ																											
	感染性産業廃棄物																											
	鋭さい																											
特別管理産業廃棄物	腐石綿等																											
	燃え殻																											
	ばいじん																											
	廃鉛(金銀等を含むもの)																											
	汚泥(金銀等を含むもの)																											
特定有害廃棄物	廃鉛(金銀等を含むもの)																											
	廃アルカリ(金銀等を含むもの)																											

II. 活動量指標

表一資・Ⅱ・1（1） 活動量指標全国合計値（平成25年度実績値）
（旧産業分類（平成14年3月改訂版）の業種区分）

大分類	番号	産業分類	コード	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
農 業		農業大分類	A							
	1	耕種農業	A011	a	4,421,759	4,196,993	4,359,500	3,999,584	3,933,780	3,867,977
	2	畜産農業	A012		299,671,570	298,904,940	296,524,196	317,512,092	317,612,980	324,052,000
	3	上記以外の農業								
林 業 漁 業	4	林業大分類	B	人	23,975	49,615	67,405	43,403	40,297	37,191
		漁業大分類	C							
	5	漁 業	C03	人	21,902	30,194	31,955	26,533	25,313	24,092
	6	水産養殖業	C04	人	12,328	18,153	19,544	15,544	14,791	14,038
鉱 業 建設業	7	鉱業	D		28,091	30,710	30,009	21,427	18,341	15,256
	8	建設業	E	百万円	51,812,976	45,476,653	46,996,633	46,524,166	47,086,029	52,274,182
製造業		製造業大分類	F							
	9	食料品製造業	F9	百万円	24,941,562	24,578,723	24,114,367	23,699,901	24,301,989	24,948,095
	10	飲料・たばこ・飼料製造業	F10	百万円	9,911,531	10,058,553	9,613,348	9,250,529	9,615,437	9,500,444
	11	繊維工業	F11	百万円	4,687,733	4,022,247	3,789,828	3,480,961	3,922,821	3,767,913
	12	衣服・その他の繊維製品製造業	F12	百万円						
	13	木材・木製品製造業	F13	百万円	2,564,791	2,167,854	2,134,101	1,974,973	2,223,303	2,436,380
	14	家具・装備品製造業	F14	百万円	2,041,130	1,758,929	1,575,390	1,418,718	1,730,851	1,819,001
	15	パルプ・紙・紙加工品製造業	F15	百万円	7,794,836	7,103,012	7,110,758	6,508,757	6,814,766	6,741,136
	16	印刷・同関連業	F16	百万円	6,737,842	6,320,513	6,044,642	5,196,920	5,481,652	5,420,686
	17	化学工業	F17	百万円	28,130,703	24,311,153	26,212,040	25,364,097	26,045,603	27,409,230
	18	石油製品・石炭製品製造業	F18	百万円	14,005,700	10,506,512	14,979,921	17,129,504	17,172,068	17,781,869
	19	プラスチック製品製造業	F19	百万円	12,073,507	10,134,367	10,902,553	10,376,376	11,106,061	11,237,336
	20	ゴム製品製造業	F20	百万円	3,495,352	2,667,487	3,034,827	2,834,689	3,177,734	3,118,878
	21	なめし革・同製品・毛皮製造業	F21	百万円	476,462	413,852	374,779	315,030	344,068	342,264
	22	窯業・土石製品製造業	F22	百万円	8,174,731	6,848,525	7,101,297	6,707,257	6,831,066	7,056,284
	23	鉄鋼業	F23	百万円	24,332,178	16,019,441	18,146,293	19,243,578	18,012,099	17,905,277
	24	非鉄金属製造業	F24	百万円	10,477,736	6,957,920	8,896,006	8,204,707	8,969,612	8,847,818
	25	金属製品製造業	F25	百万円	15,149,270	12,700,920	12,292,040	11,709,254	12,860,722	13,060,603
	26	一般機械器具製造業	F26	百万円	汎用、生産、業務	汎用、生産、業務	汎用、生産、業務	汎用、生産、業務	汎用、生産、業務	汎用、生産、業務
	27	電気機械器具製造業	F27	百万円	40,247,738	29,197,828	30,618,645	30,607,952	33,081,622	32,091,086
	28	情報通信機械器具製造業	F28	百万円	電子、電気、情報	電子、電気、情報	電子、電気、情報	汎用、生産、業務	汎用、生産、業務	汎用、生産、業務
	29	電子部品・デバイス製造業	F29	百万円	51,873,505	40,137,981	44,345,998	37,928,093	36,797,797	36,681,965
	30	輸送用機械器具製造業	F30	百万円	63,766,639	47,238,029	54,213,562	54,032,593	56,485,808	58,203,152
	31	精密機械器具製造業	F31	百万円						
	32	その他の製造業	F32	百万円	4,695,880	3,933,093	3,607,287	3,721,151	3,752,559	3,722,713
電気・ガス ・熱供給・ 水道業		電気・ガス・熱供給・水道業大分類	G							
	33	電気業	G33	人	127,256	148,753	153,058	142,113	140,604	139,095
	34	ガス業	G34	人	30,897	37,598	38,605	35,588	35,346	35,103
	35	熱供給業	G35	人	2,739	2,613	2,581	2,011	1,810	1,610
	36	上水道業	G361	人	124,743,531	124,796,337	124,817,005	124,657,159	124,465,601	124,369,524
	37	下水道業	G363	人	92,411,000	93,599,000	94,512,000	95,235,000	97,434,000	98,123,000
情報通信業		情報通信業大分類	H							
	38	通信業	H37	人	235,508	192,861	182,904	196,034	197,109	198,183
	39	放送業	H38	人	64,432	72,194	74,497	68,217	67,027	65,837
	40	情報サービス業	H39	人	1,011,539	1,108,899	1,157,929	1,044,779	1,023,441	1,002,102
	41	インターネット付随サービス業	H40	人	62,519	64,936	70,953	54,161	50,570	46,978
	42	映像・音声・文字情報制作業	H41	人	269,303	286,088	293,052	248,970	236,597	224,225
運輸業		運輸業大分類	I							
	43	鉄道業	I42	人	201,881	275,173	296,386	261,271	262,456	263,640
	44	道路旅客運送業	I43	人	590,039	621,855	630,536	563,476	548,922	534,367
	45	道路貨物運送業	I44	人	1,526,495	1,793,269	1,880,855	1,532,188	1,445,161	1,358,134
	46	上記以外の運輸通信業		人	571,344	921,305	1,036,304	925,355	929,194	933,033
卸売・小売業		卸売・小売業大分類	J							
	47	各種商品卸売業	J49	人	37,538	37,936	40,916	41,092	42,144	43,196
	48	各種商品小売業	J55	人	587,823	640,122	647,042	375,764	287,645	199,525
	49	自動車小売業	J571	人	581,489	636,711	648,121	538,840	506,216	473,593
	50	家具・じゅう器・機械器具小売業	J59	人	288,722	127,616	125,162	503,404	466,136	81,611
	51	燃料小売業	J603	人	374,342	394,418	389,742	339,246	320,855	302,465
	52	上記以外の卸売・小売業・飲食店小売業		人		10,377,323	10,448,332	9,908,889	9,770,652	9,632,416
		飲食店、宿泊業	M							
	53	一般飲食店	M70	人	2,847,172	3,876,846	4,939,104	4,201,947	4,128,785	4,055,624
	54	上記以外の飲食店、宿泊業		人	1,931,850	1,315,040	1,085,155	1,218,885	1,198,758	1,178,630
医療、福祉		医療、福祉大分類	N							
	55	医療業	N73	床	1,751,842	1,743,293	1,730,215	1,712,439	1,703,853	1,695,114
	56	上記以外の医療、福祉		人	2,640,009	2,876,829	3,062,060	2,766,541	2,885,690	3,004,838
教育、学習支援業	57	教育、学習支援業大分類	O	人	2,990,446	3,086,902	3,135,750	2,993,051	2,992,400	3,004,440
	58	複合サービス事業大分類	P	人	687,875	406,970	369,604	342,426	320,928	299,430
複合サービス事業 サービス業		サービス業大分類	Q							
	59	写真業	Q808	人	49,197	53,803	53,721	48,716	47,020	45,325
	60	学術開発研究機関	Q81	人	272,538	303,752	312,191	252,841	248,442	244,043
	61	洗濯業	Q821	人	355,242	385,042	390,823	365,401	358,854	352,307
	62	自動車整備業	Q86	人	311,291	271,619	258,637	279,646	282,290	284,934
	63	と畜場	Q932	人	3,081	4,052	4,312	2,477	2,280	1,834
				(頭)	1,237,578	1,227,764	1,218,663	1,174,221	1,199,510	1,184,999
	64	上記以外のサービス業		人	7,915,329	4,290,391	4,421,416	4,239,632	4,214,253	4,188,873
公 務	65	公務大分類	R	人	1,842,038	1,868,690	1,874,179	2,203,871	2,187,800	2,187,940

表－資・Ⅱ・１（２） 活動量指標全国合計値（平成 26 年度実績値）
（新産業分類（平成 19 年 11 月改訂版）の業種区分）

大分類	番号	産業分類	コード	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
農業・林業		農業大分類	A								
	1	耕種農業	A011	a	4,421,759	4,196,993	4,359,500	3,886,124	3,763,590	3,641,057	3,518,524
	2	畜産農業	A012	頭羽	299,671,570	298,904,940	296,524,196	317,512,092	317,612,980	324,052,000	323,938,806
	4	林業大分類	B	人	23,975	49,615	67,405	43,403	43,431	43,460	43,488
	3	上記以外の農業・林業									
漁業		漁業大分類	C								
	5	漁業	C03	人	21,902	30,194	31,955	26,533	26,074	25,616	25,157
	6	水産養殖業	C04	人	12,328	18,153	19,544	15,544	15,433	15,321	15,210
	7	鉱業、採石業、砂利採取業	D	人	28,091	30,710	30,009	21,427	20,916	20,405	19,894
建設業	8	建設業	E	百万円	51,812,976	45,476,653	46,996,633	46,524,166	47,086,029	52,274,182	54,925,603
製造業		製造業大分類	F								
	9	食料品製造業	F9	百万円	24,941,562	24,578,723	24,114,367	23,699,901	24,301,989	24,948,095	25,936,077
	10	飲料・たばこ・飼料製造業	F10	百万円	9,911,531	10,058,553	9,613,348	9,250,529	9,615,437	9,500,444	9,596,768
	11	繊維工業	F11	百万円	4,687,733	4,022,247	3,789,828	3,480,961	3,922,821	3,767,913	3,822,304
	12	木材・木製品製造業（家具を除く）	F12	百万円	2,564,791	2,167,854	2,134,101	1,974,973	2,223,303	2,436,380	2,520,040
	13	家具・装備品製造業	F13	百万円	2,041,130	1,758,929	1,575,390	1,418,718	1,730,851	1,819,001	1,915,042
	14	パルプ・紙・紙加工品製造業	F14	百万円	7,794,836	7,103,012	7,110,758	6,508,757	6,814,766	6,741,136	6,974,353
	15	印刷・同関連業	F15	百万円	6,737,842	6,320,513	6,044,642	5,196,920	5,481,652	5,420,686	5,415,918
	16	化学工業	F16	百万円	28,130,703	24,311,153	26,212,040	25,364,097	26,045,603	27,409,230	28,124,954
	17	石油製品・石炭製品製造業	F17	百万円	14,005,700	10,506,512	14,979,921	17,129,504	17,172,068	17,781,869	18,648,512
	18	プラスチック製品製造業（別掲を除く）	F18	百万円	12,073,507	10,134,367	10,902,553	10,376,376	11,106,061	11,237,336	11,532,578
	19	ゴム製品製造業	F19	百万円	3,495,352	2,667,487	3,034,827	2,834,689	3,177,734	3,118,878	3,212,642
	20	なめし革・同製品・毛皮製造業	F20	百万円	476,462	413,852	374,779	315,030	344,068	342,264	355,024
	21	窯業・土石製品製造業	F21	百万円	8,174,731	6,848,525	7,101,297	6,707,257	6,831,066	7,056,284	7,332,194
	22	鉄鋼業	F22	百万円	24,332,178	16,019,441	18,146,293	19,243,578	18,012,099	17,905,277	19,202,162
	23	非鉄金属製造業	F23	百万円	10,477,736	9,957,920	8,896,006	8,204,707	8,969,612	8,847,818	9,502,051
	24	金属製品製造業	F24	百万円	15,149,270	12,700,920	12,292,040	11,709,254	12,860,722	13,060,603	13,932,776
	25	はん用機械器具製造業	F25	百万円	12,541,115	9,908,201	10,099,831	9,946,599	10,623,791	10,230,928	10,103,055
	26	生産用機械器具製造業	F26	百万円	19,132,918	12,191,600	13,645,906	14,276,936	15,538,575	15,154,929	16,590,604
	27	業務用機械器具製造業	F27	百万円	8,573,705	7,098,027	6,872,908	6,384,417	6,919,256	6,705,229	7,033,631
	28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	F28	百万円	20,524,275	14,902,077	16,621,843	14,921,619	13,143,253	12,733,483	13,630,196
	29	電気機械器具製造業	F29	百万円	16,838,479	13,772,134	15,119,685	13,791,199	14,982,669	15,458,146	17,031,700
	30	情報通信機械器具製造業	F30	百万円	14,510,751	11,463,770	12,604,470	9,215,275	8,671,876	8,490,337	8,730,923
	31	輸送用機械器具製造業	F31	百万円	63,766,639	47,238,029	54,213,562	54,032,593	56,485,808	58,203,152	60,063,334
	32	その他の製造業	F32	百万円	4,695,880	3,933,093	3,607,287	3,721,151	3,752,559	3,722,713	3,933,151
電気・ガス・熱供給・水道業		電気・ガス・熱供給・水道業大分類	G								
	33	電気業	G33	人	127,256	148,753	153,058	142,113	140,911	139,708	138,506
	34	ガス業	G34	人	30,897	37,598	38,605	35,588	34,948	34,309	33,669
	35	熱供給業	G35	人	2,739	2,613	2,581	2,011	1,994	1,978	1,961
	36	上水道業	G361	人	124,743,531	124,796,337	124,817,005	124,657,159	124,465,601	124,369,524	124,266,130
	37	下水道業	G363	人	92,411,000	93,599,000	94,512,000	95,235,000	97,434,000	98,123,000	98,737,000
情報通信業		情報通信業大分類	H								
	38	通信業	H37	人	235,508	192,861	182,904	196,034	182,144	168,253	154,363
	39	放送業	H38	人	64,432	72,194	74,497	68,217	68,102	67,987	67,872
	40	情報サービス業	H39	人	1,011,539	1,108,899	1,157,929	1,044,779	1,054,646	1,064,514	1,074,381
	41	インターネット付随サービス業	H40	人	62,519	64,936	70,953	54,161	63,805	73,449	83,093
	42	映像・音声・文字情報制作業	H41	人	269,303	286,088	293,052	248,970	249,637	250,303	250,970
運輸業、郵便業		運輸業大分類	I								
	43	鉄道業	I42	人	201,881	275,173	296,386	261,271	252,521	243,771	235,021
	44	道路旅客運送業	I43	人	590,039	621,855	630,536	563,476	558,032	552,589	547,145
	45	道路貨物運送業	I44	人	1,526,495	1,793,269	1,880,855	1,532,188	1,592,831	1,653,473	1,714,116
	46	上記以外の運輸通信業		人	571,344	921,305	1,036,304	925,355	867,571	809,786	752,002
卸売・小売業		卸売・小売業大分類	J								
	47	各種商品卸売業	J49	人	37,538	37,936	40,916	41,092	39,718	38,345	36,971
	48	木材・竹材・卸売業		人	53,016	53,395	57,362	39,233	36,284	33,335	30,386
	49	各種商品小売業	J55	人	587,823	640,122	647,042	375,764	388,766	401,768	414,778
	50	自動車小売業	J571	人	581,489	636,711	648,121	538,840	551,473	564,105	576,738
	51	機械器具小売業		人	119,737	297,765	298,466	324,341	315,754	307,167	298,580
	52	家具・建具・畳小売業	J59	人	286,890	122,522	120,127	97,913	97,755	97,597	97,439
	53	じゅう器小売業		人	100,275	136,798	145,860	81,150	72,161	63,171	54,182
	54	燃料小売業	J603	人	374,342	394,418	389,742	339,246	338,207	337,168	336,129
	55	上記以外の卸売・小売業		人		10,377,323	10,448,332	9,908,889	9,986,847	10,064,805	10,142,763
不動産業、物品賃貸業	56	物品賃貸業		人	284,584	310,812	318,928	294,957	300,548	306,139	311,730
	57	写真業	Q808	人	49,197	53,803	53,721	48,716	49,360	50,004	50,648
	58	学術開発研究機関	Q81	人	272,538	303,752	312,191	252,841	255,080	257,319	259,558
		飲食店、宿泊業大分類	M								
宿泊業、飲食サービス業	59	一般飲食店	M70	人	2,847,172	3,876,846	4,939,104	4,201,947	4,211,592	4,221,236	4,230,881
	60	上記以外の飲食店、宿泊業		人	1,931,850	1,315,040	1,085,155	1,218,885	1,232,153	1,245,422	1,258,690
	61	洗濯業	Q821	人	355,242	385,042	390,823	365,401	352,088	338,774	325,461
教育、学習支援業	66	教育、学習支援業大分類	O	人	2,990,446	3,086,902	3,135,750	2,993,051	2,992,400	3,004,440	3,016,840
	62	医療、福祉大分類	N								
医療、福祉	62	医療業	N73	床	1,751,842	1,743,293	1,730,215	1,712,439	1,712,439	1,695,114	1,680,625
	63	上記以外の医療、福祉		人	2,640,009	2,876,829	3,062,060	2,766,541	2,987,604	3,208,666	3,429,729
複合サービス事業	67	複合サービス事業大分類	P	人	687,875	406,970	369,604	342,426	401,191	459,957	518,722
		サービス業大分類	Q								
	64	自動車整備業	Q86	人	311,291	271,619	258,637	279,646	274,408	269,170	263,932
	65	と畜場	Q932	人	3,081	4,052	4,312	2,477	2,361	2,246	2,130
	66	上記以外のサービス業		人	1,237,578	1,227,764	1,218,663	1,174,221	1,199,510	1,184,999	1,156,602
公務		上記以外のサービス業		人	7,915,329	4,290,391	4,421,416	4,239,632	4,292,511	4,345,390	4,398,269
	67	公務大分類	R	人	1,842,038	1,868,690	1,874,179	2,203,871	2,187,800	2,187,940	2,189,040

表一 資・Ⅱ・Ⅰ (3) 活動量指標 (新産業分類 (平成 19 年 10 月改訂版) の業種区分) (平成 26 年度実績値)

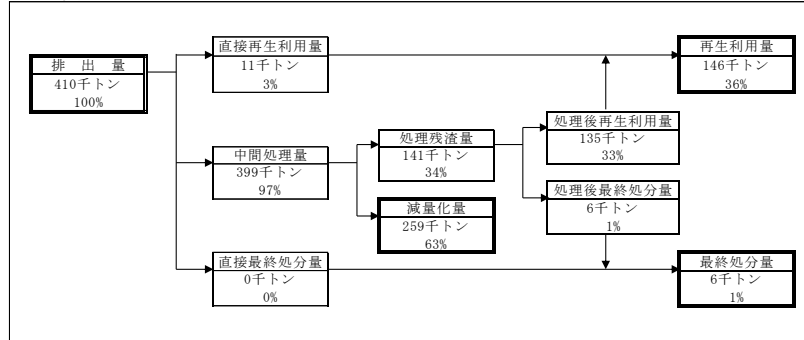
大分類	中分類	小分類	単位	コード	1 北海道	2 青森県	3 岩手県	4 宮城県	5 秋田県	6 山形県	7 福島県	8 茨城県	9 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県	17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県	21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県	
農林業・林業	農林業	1 稲作	人	0011	264,940	36,077	42,928	60,676	26,343	68,036	66,438	300,271	150,831	100,477	64,862	135,951	16,411	24,655	34,098	4,018	17,121	9,691	18,785	41,764	25,355	102,102	212,714	20,968	
		2 雑穀類	人	0012	13,566	477	13,531	28,505	910	6,870	19,949	4,691,331	14,752,331	4,677,848	11,818,962	4,341,755	14,078,524	106,983	1,166,773	7,904,438	1,031,898	1,071,814	680,513	934,729	1,553,961	6,405,579	5,723,774	10,266,274	7,081,738
		3 林業	人	0013	4,598	1,429	1,743	859	1,947	792	1,623	623	332	648	762	311	289	243	885	971	720	538	612	721	1,553,961	1,553,961	1,553,961	602	718
		4 畜産	人	0014	5,810	916	918	990	135	17	296	860	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5 水産	人	0015	809	174	257	131	134	119	163	145	18	173	52	35	203	60	39	64	115	312	61	64	115	312	61	64	115
		6 漁業	人	0016	2,904,445	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872	421,872
		7 林業	人	0017	1,884,541	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640	307,640
		8 林業	人	0018	257,584	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196	25,196
		9 林業	人	0019	160,723	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580	14,580
		10 林業	人	0020	37,714	5,017	6,871	11,390	28,261	48,438	48,438	62,419	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380	44,380
漁業	漁業	1 漁業	人	0021	411,910	92,300	100,126	45,065	61,841	159,301	231,176	238,513	78,961	124,073	86,388	97,609	123,559	199,256	221,888	138,904	23,940	72,907	18,722	21,288	126,011	78,035	189,609	33,158	
		2 漁業	人	0022	190,769	37,317	37,317	98,507	125,144	99,147	112,662	108,224	41,862	109,224	41,862	109,224	41,862	109,224	41,862	109,224	41,862	109,224	41,862	109,224	41,862	109,224	41,862	109,224	
		3 漁業	人	0023	1,016,064	8,320	12,145	690,362	5,502	6,927	18,422	109,734	18,699	9,639	47,757	3,606,520	23,735	632,481	20,236	6,983	5,883	1,792							
		4 漁業	人	0024	18,364	12,454	99,428	28,462	65,088	187,900	758,714	478,971	485,158	692,438	296,425	104,806	32,969	13,432	11,960	4,866	1,682	21,112	12,182	208,924	413,788	223,889			
		5 漁業	人	0025	10,793	2,167	7,669	73,478	5,143	1,791	199,344	71,904	148,735	51,789	104,806	32,969	13,432	11,960	4,866	1,682	21,112	12,182	208,924	413,788	223,889				
		6 漁業	人	0026	6,082	2,378	7,376	12,288	3,163	19,844	11,378	1,941	2,768	1,639	2,056	1,166	1,369	4,303	1,936	1,044	357	3,603	2,830	3,414	4,314	19,945			
		7 漁業	人	0027	174,458	47,055	104,928	125,144	99,147	84,530	210,648	307,696	168,817	265,983	137,629	272,273	178,739	331,566	220,539	188,478	66,790	44,086	56,256	121,388	370,469	177,654	761,453	243,908	
		8 漁業	人	0028	598,455	121,221	93,466	199,087	23,237	32,094	104,445	43,769	238,737	905,933	333,368	1,237,628	193,413	729,962	110,524	184,475	49,378	28,932	4,948	52,777	210,860	233,124	1,586,792	123,965	
		9 漁業	人	0029	20,962	339,181	15,197	66,540	82,500	53,372	61,841	309,312	338,312	126,294	398,783	221,223	371,361	347,010	934,788	399,392	440,359	48,457	140,359	38,799	193,175	85,221	570,509	461,935	442,878
		10 漁業	人	0030	268,584	42,288	81,710	177,728	62,940	88,943	261,978	661,803	104,814	378,423	284,284	378,423	284,284	378,423	284,284	378,423	284,284	378,423	284,284	378,423	284,284	378,423	284,284	378,423	284,284
製造業・建設業	製造業	1 化学工業	人	0031	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		2 化学工業	人	0032	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		3 化学工業	人	0033	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		4 化学工業	人	0034	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		5 化学工業	人	0035	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		6 化学工業	人	0036	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		7 化学工業	人	0037	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		8 化学工業	人	0038	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		9 化学工業	人	0039	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		10 化学工業	人	0040	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
建設業	建設業	1 土木建築	人	0041	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		2 土木建築	人	0042	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		3 土木建築	人	0043	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		4 土木建築	人	0044	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		5 土木建築	人	0045	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		6 土木建築	人	0046	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		7 土木建築	人	0047	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		8 土木建築	人	0048	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		9 土木建築	人	0049	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		10 土木建築	人	0050	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
卸売・小売業	卸売・小売業	1 卸売業	人	0051	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
		2 卸売業	人	0052	11,717	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171		

表－資・Ⅱ・1（4） 活動量指標（新産業分類（平成19年11月改訂版）の業種区分）（平成26年度実績値）

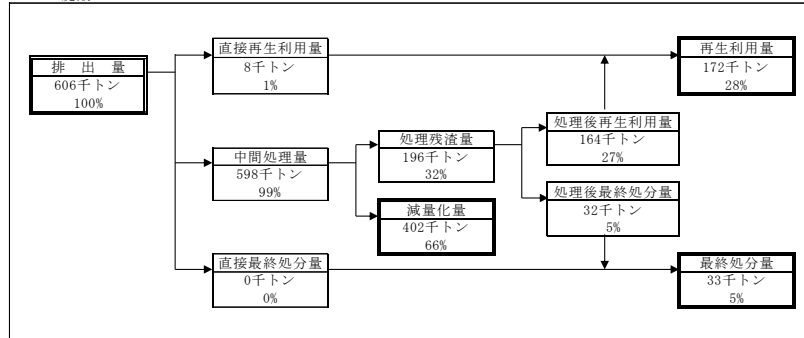
番号	産業分類	コード	単位	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	
				総製造業	製造業	大政付	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛知県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
	農林業大分類	A		農林業	畜産業	大政付	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛知県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
1	稲作農業	6012	ha	8,496	20,831	29,794	27,521	28,792	30,075	34,505	35,196	35,196	37,002	48,381	37,565	24,598	4,330,121	123,796	183,460	101,889	97,487	189,123	90,164	135,559	85,054	64,026	
2	雑穀農業	6012	ha	508,968	2,040,332	83,624	7,697,682	587,790	784,560	3,529,330	1,251,412	12,144,585	9,468,680	3,180,772	1,480,542	3,091,620	7,091,620	4,000,220	751,994	4,890,544	4,418,821	4,317,823	6,394,062	3,978,117	34,817,369	38,095,054	2,327,080
3	林業大分類	B	人	378	648	142	1,000	266	637	659	1,076	841	1,298								397	1,201	948	1,831	1,340	66	
	上段の産業大分類・中業																										
4	漁業大分類	C	人	68	254	56	288	0	198	703	1,020	31	65	410	113	374	801	186	47	1,762	172	431	1,356	1,029	28	25,157	
5	水産養殖業	004	人	145	119	16	416	43	66	35	231	718	1,029	184	218	446	999	429	565	92	1,385	789	779	1,839	245	15,810	
6	水産漁業	004	人	107	178	128	339	69	40	46	35	218	161	161	403	146	246	429	565	92	294	344	441	103	440	222	
7	水産漁業	004	人	403,465	961,141	3,912,111	1,883,189	364,812	403,361	222,046	379,674	218,222	1,057,378	726,879	726,879	362,967	537,881	292,546	1,988,598	374,446	484,999	597,857	529,559	451,278	727,231	522,024	
8	建設業	F	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
9	製造業大分類	F9	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
10	食品製造業	F91	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
11	繊維製造業	F92	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
12	化学工業	F93	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
13	金属・機械製造業	F94	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
14	印刷・同印刷業	F95	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
15	化学工業	F96	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
16	化学工業	F97	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
17	化学工業	F98	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
18	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
19	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
20	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
21	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
22	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
23	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
24	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
25	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
26	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
27	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
28	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
29	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
30	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
31	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
32	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
33	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
34	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
35	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
36	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
37	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
38	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	628,832	214,307	160,464	315,103	284,153	76,792	964,171	324,025	394,589	330,664	146,825	161,991	657,231	131,484	
39	化学工業	F99	百万円	281,810	458,121	1,178,651	1,552,962	228,245	149,174	134,146	68,101	458,549	62														

Ⅲ. 産業廃棄物の種類別処理状況フロー

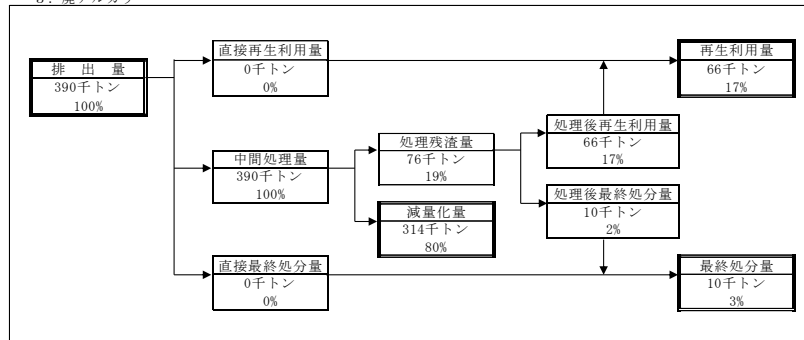
1. 廃油



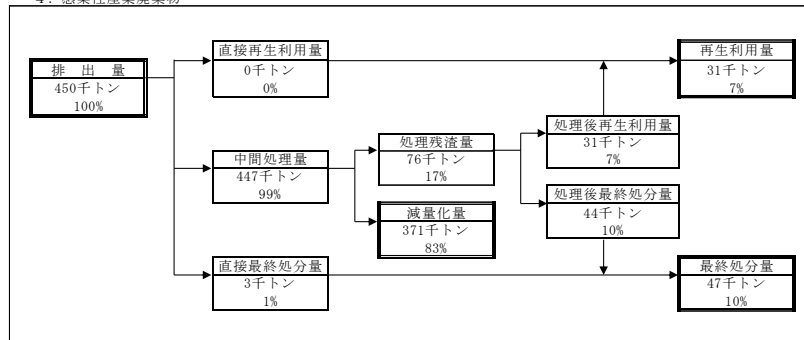
2. 廃酸



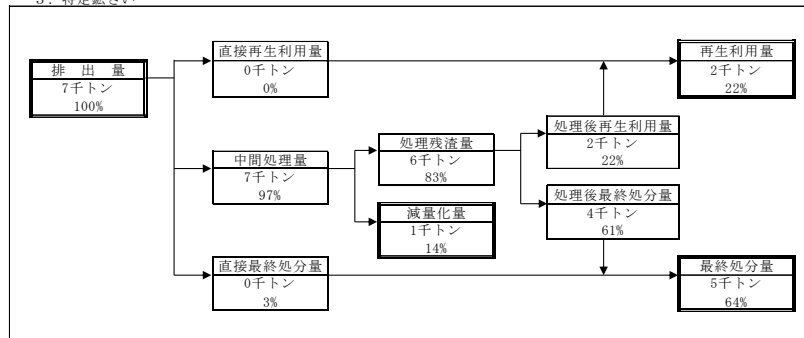
3. 廃アルカリ



4. 感染性産業廃棄物

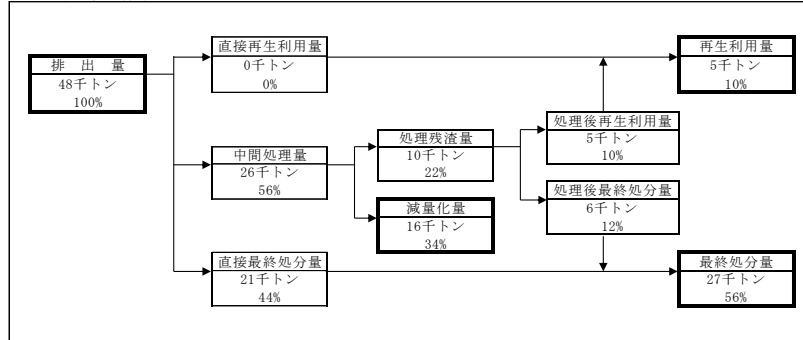


5. 特定鉱さい

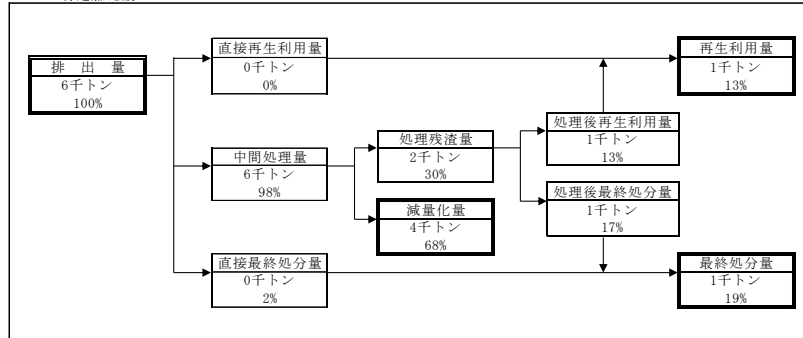


※各項目量は、四捨五入して表示しているため、収支が合わない場合がある。

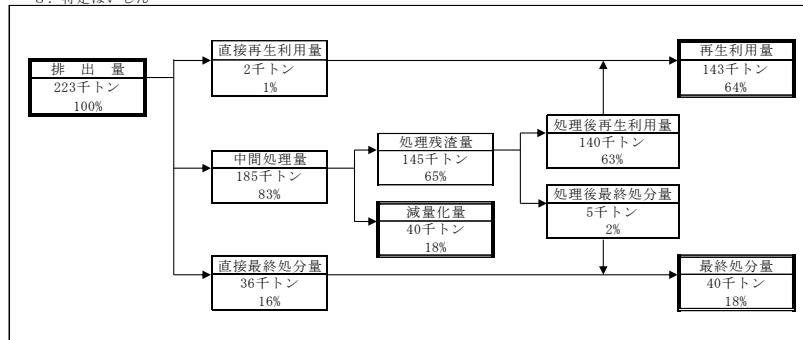
6. 特定廃石綿等



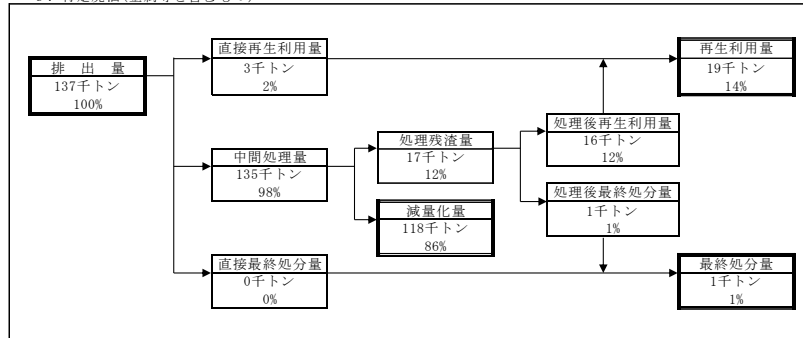
7. 特定燃え殻



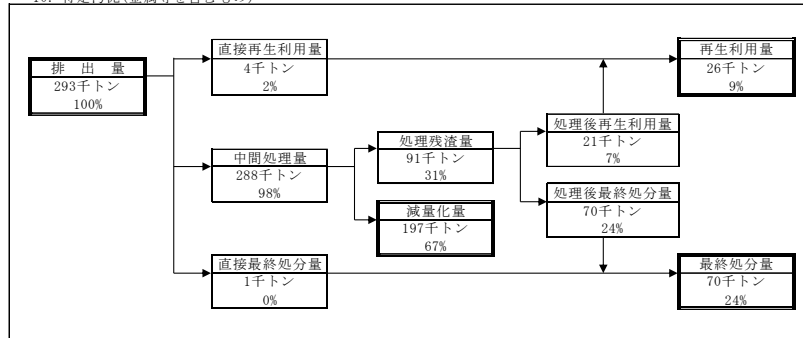
8. 特定ばいじん



9. 特定廃油(金属等を含むもの)

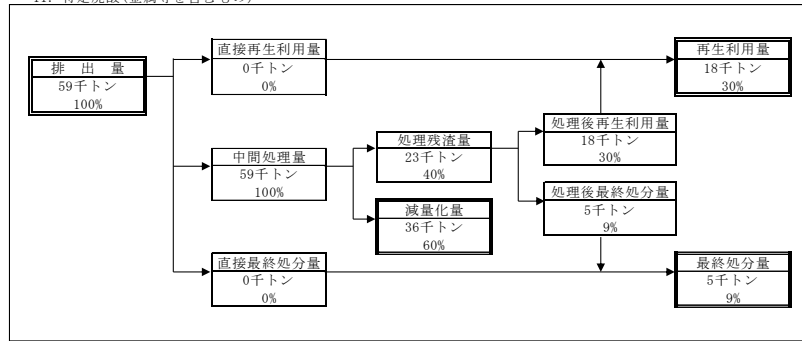


10. 特定汚泥(金属等を含むもの)

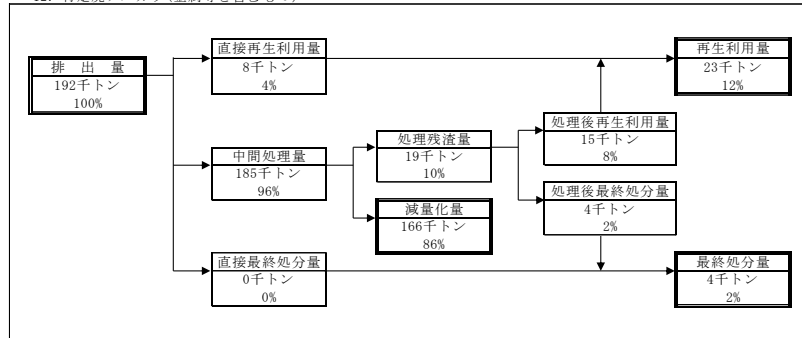


※各項目量は、四捨五入して表示しているため、収支が合わない場合がある。

11. 特定廃酸(金属等を含むもの)



12. 特定廃アルカリ(金属等を含むもの)



※各項目量は、四捨五入して表示しているため、収支が合わない場合がある。

リサイクル適正の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。